
飯山市第6次総合計画前期基本計画施策評価シート

令和8（2026）年9月17日（木）

飯山市総合計画等評価検証委員会

飯山市第6次総合計画前期基本計画 施策評価シート 目次

1 美しい自然 環境を守 り、クリエ イトするま ち	1 新価値創出・	1 新産業創出・起業支援	1
	起業支援	2 産業間連携、付加価値創出	3
	2 自然環境・	1 自然との共生、山河や多様な生物の保全	5
	景観・	2 景観、環境保全	7
	自然	3 脱炭素の地域づくり	9
	エネルギー・	4 利雪、楽雪	11
	利雪・楽雪・	5 循環型の地域づくり	13
	土地利用	6 環境学習、環境保全活動の推進	15
		7 地域特性を活かした市土利用	17
	3 観光・交流・	1 広域観光の推進	19
	関係人口	2 魅力ある観光プログラムの構築	21
		3 観光資源の磨き上げ	23
		4 多様な交流・関係人口創出	25
	4 住宅・移住定住	1 移住定住の推進	27
	5 魅力発信	1 地域住民への広報	29
		2 情報発信の充実	31
	6 デジタル化	1 デジタル技術を活用した市民・来訪者サービスの構築	33
		2 デジタルインフラ整備	35
2 未来を拓く 子どもたち が育つ共育 のまち	1 子育て	1 魅力ある保育サービスの推進	37
		2 子育て世代支援	39
	2 教育	1 生き抜く力を育むための教育	41
		2 公正で質の高い学力の保障と自分のために必要な資質を磨く教育	43
		3 新たな時代に対応できる力を磨く教育	45
		4 飯山を担うためのふるさと教育	47
		5 共生社会が実現するための教育	49
		6 地域・社会に支えられ、子どもが飯山を誇りに思う生涯学習・生涯スポーツ	51
3 世界に誇れ る技術を持 ち、産業が 活発なまち	1 農林業	1 地域資源を活かした農林業の付加価値向上	53
		2 担い手の確保や組織の育成、農地利用の集積	55
		3 農林業施設、生産基盤等の整備、農村振興	57
	2 商工業	1 商業空間・商業基盤の充実	59
		2 工業基盤の充実と活用	61
		3 多様な働き方の推進	63
	3 伝統産業	1 伝統産業の振興と技術を活かしたイノベーションの推進	65
		2 伝統産業の担い手の確保・育成	67

4 一人ひとりが生きがいをもって挑戦できるまち	1 市民協働・ダイバーシティ	1 誰もが活躍できる場づくり	69
		2 多様性を認め合う地域づくり	71
		3 人権意識の啓発活動	73
	2 生涯学習	1 学びと生きがいづくり	75
		2 魅力ある図書館づくり	77
	3 文化	1 歴史・文化の保存、伝承と活用	79
		2 芸術文化活動の推進	81
	4 スポーツ	1 スポーツ活動の推進	83
		2 スポーツ施設の魅力化	85
5 安全で安心して暮らしを愉しめるまち	1 公共交通	1 効率的な公共交通システムの構築	87
		2 北陸新幹線飯山駅を中心とした二次交通網の充実	89
	2 健康	1 特定健康診査等による疾病予防、介護予防	91
		2 多様な健康ニーズへの対応	93
	3 福祉・介護	1 地域福祉の推進	95
		2 高齢者福祉・介護サービス等の推進	97
		3 障がい者（児）福祉の推進	99
	4 医療	1 地域中核医療機関の維持	101
		2 地域医療の推進	103
	5 防災減災	1 防災減災対策の推進	105
		2 自主防災力の向上	107
	6 道路	1 道路ネットワークの充実	109
		2 道路環境の維持・向上	111
	7 公園	1 魅力ある公園づくり	113
		2 安全な公園施設の維持	115
	8 上下水道	1 上水道の安定供給	117
		2 下水道の適正管理	119
	9 防犯・交通安全	1 防犯対策の推進	121
		2 交通安全の推進	123
	10 消防・救急	1 消防体制の強化	125
		2 救急体制の強化	127
	11 消費者保護	1 消費者保護の推進	129
	12 克雪	1 生活道路等の除雪	131
		2 冬の暮らしの安心・安全確保	133
	13 集落維持	1 持続可能な集落づくり	135
	14 行財政	1 効果的で質の高い行政運営	137
		2 健全な財政運営	139
		3 広域連携の推進	141

基本目標 01 美しい自然環境を守り、クリエイトするまち

行政分野 01 新価値創出・起業支援

施策 01 新産業創出・起業支援

上段：目 標

中段：実 績

下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	起業支援件数（※期間累計）	成	件	31（H30～R4累計）	6	12	18	24	30
		果			7	9	13		
					◎	○	○		
	（商工観光課）	〔指標設定の要素〕 先端・新産業の展開（新産業創出支援）							
②	旧城南中学校の後利用活用（※期間累計）	成	件	0（R4）	0	0	1	1	1
		果			1	1	1		
					-	-	◎		
	（総務課）	〔指標設定の要素〕 公有資産活用、廃校利用							
③									
④									
⑤									
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

・起業支援・改修補助金は4件交付となった。ただ、補助金を受けずに開業した事業者もあった。(商工観光課)
・旧城南中学校の跡地利活用については、事業者公募を実施し審査を経て、第1優先交渉権者が決定した。(総務課)

成果と課題

- ・起業による新たな事業者の増加は、市の魅力アップにつながっている。開業前の相談など、手続きの流れについて、開業予定の方への周知方法が課題。(商工観光課)
- ・旧城南中学校の跡地利活用については、事業者公募を実施し審査を経て、第1優先交渉権者が決定した。(総務課)

今後の方針（施策の方向性）

- ・関係機関と連携し、スクール等で補助金の案内をすると共に、創業スクールへの受講者を増やしていきたい。(商工観光課)
- ・第1優先交渉権者との詳細協議を進め、実際の事業化に向け進めていく。(総務課)

施策に関する事務事業

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 01 美しい自然環境を守り、クリエイトするまち

行政分野 01 新価値創出・起業支援

施策 02 産業間連携、付加価値創出

上段：目 標
中段：実 績
下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	地域おこし協力隊員数（※期間累計）	成 果	人	4（R4）	20 9 ×	30 18 △	45 16 ×	30	35
	（事業戦略課）	〔指標設定の要素〕 地域おこし協力隊の増員と地域産業の魅力化							
②	起業支援件数（※期間累計）	活 動	件	1（R4）	6 7 ◎	12 9 ○	18 13 ○	24	30
	（商工観光課）	〔指標設定の要素〕 イノベーション・ブランド化							
③	連携協定等に基づき民間事業者や大学等と連携して実施した事業数	活 動	数	1（R4）	1 1 ◎	1 1 ◎	1 1 ◎	1	1
	（総務課）	〔指標設定の要素〕 産学官連携（農福連携含む）							
④									
⑤									
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

・全国的に状況が激化している中で、応募者数は増加しておらず、応募者の提案内容と本市が抱える課題とのマッチング状況により、目標値を達成できなかった。(事業戦略課)

・起業支援・改修補助金は4件交付となった。ただ、補助金を受けずに開業した事業者もあった。(商工観光課)

・包括連携協定に基づき、(株)マウスコンピューターと連携した小、中、高校生向けのプログラミング教室を開催。(総務課)

成果と課題

- ・フリーミッションに加え、各課や地域等からの要望に基づき、ミッションを掲げた募集を実施し、間口を広げた。なお、地域ニーズとの乖離を防ぐためのマッチングを強化するほか、隊員定着率を上げるためのサポートの強化が必要。（事業戦略課）
- ・起業による新たな事業者の増加は、市の魅力アップにつながっている。開業前の相談など、手続きの流れついて、開業予定の方への周知方法が課題。（商工観光課）
- ・プログラミング教室については、初級編と中級編を実施。新たに中学生、高校生のメニューを実施。（総務課）

今後の方針（施策の方向性）

・応募者が提案する活動と地域課題のマッチングを強化するとともに、住民へのPRを通じて協力隊活動に対する理解と協力を促し、地域全体で支える体制を構築する。(事業戦略課)

・関係機関と連携し、スクール等で補助金の案内をすると共に、創業スクールへの受講者を増やしていきたい。(商工観光課)

・プログラミング教室の講師については、外部ではなく地元での育成に向けて取り組みを検討していく。(総務課)

施策に関する事務事業

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 01 美しい自然環境を守り、クリエイトするまち

行政分野 02 自然環境・景観・自然エネルギー・利雪・楽雪・土地利用

施策 01 自然との共生、山河や多様な生物の保全

上段：目 標

中段：実 績

下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	拠点施設の整備数 (※期間累計)	活 動	数	0 (R4)	1 1 ◎	1 1 ◎	1 1 ◎	1	1
	(商工観光課)	〔指標設定の要素〕 河川や湖沼の保護・保全、自然の魅力化							
②	自然観察会開催数	活 動	回	3 (R4)	3 3 ◎	3 4 ◎	3 2 △	3	3
	(市民学習支援課)	〔指標設定の要素〕 生物多様性の確保、希少種の保護・保全							
③	小型鳥獣捕獲用わな 設置講習会人数	活 動	人	177 (R4)	187 189 ◎	199 204 ◎	209 223 ◎	219	229
	(森林農地整備課)	〔指標設定の要素〕 外来生物、有害鳥獣対策							
④									
⑤									
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

- ・自然観察会の開催につながるニーズの把握ができず、開催回数の減となった。(市民学習支援課)
・小型鳥獣捕獲用わな設置講習会は、農作物の被害防止のため捕獲用わな設置講習会開催の周知により、参加及び許可人数が増えた。(森林農地整備課)

成果と課題

- ・子ども向け講座は体制が整っておりコンスタントな開催ができていたため、成人向け講座でも講師確保や協力体制をととのえる必要がある(市民学習支援課)
・小型鳥獣捕獲用わな講習会は、講習会開催周知を早期に実施したことにより、問い合わせ件数が増え、農作物等の被害防止に繋がった。(森林農地整備課)

今後の方針（施策の方向性）

- ・学校や地域とも連携を取りながら、講師確保や内容の充実を図り、継続的に自然を学ぶ機会を提供できるようにする。(市民学習支援課)
- ・小型鳥獣捕獲用わな設置講習会は、設置講習会回数を増やし、農作物等の被害防止に努めたい。(森林農地整備課)

施策に関する事務事業

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 01 美しい自然環境を守り、クリエイトするまち

行政分野 02 自然環境・景観・自然エネルギー・利雪・楽雪・土地利用

施策 02 景観、環境保全

上段：目 標

中段：実 績

下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	公害苦情件数	成	件	7 (R3)	4	4	3	2	2
		果			7	1	1		
					△	◎	◎		
	(市民環境課)	〔指標設定の要素〕 公害防止							
②	まち並整備等修景補助件数及びブロック塀撤去の補助件数	活	件	2 (R4)	2	2	2	2	2
		動			1	1	1		
					△	△	△		
	(まちづくり課)	〔指標設定の要素〕 景観、農地等の維持・保全							
③	危険空家解消件数	活	件	6 (R4)	5	10	15	20	25
	(※期間累計)	動			2	3	4		
					×	×	×		
	(移住定住推進課)	〔指標設定の要素〕 景観、農地等の維持・保全							
④	各地区での年間空間放射線量測定回数	活	回	12 (R4)	12	12	12	12	12
		動			11	12	12		
					◎	◎	◎		
	(市民環境課)	〔指標設定の要素〕 環境の確保							
⑤									
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

- ・ブロック塀撤去についての相談はあるが、個人負担もありリフォーム等に比べ優先度も低いため申請に結びついていない。(まちづくり課)
- ・危険空家等の1件解消が図れた。所有者の経済面や相続人不在・相続放棄等の案件問題が進展なく、基準値の対応が図れなかった。(移住定住推進課)
- ・公害苦情の申立件数が抑制目標値を下回ったことは、法令規制の浸透が図られたものと評価する。(市民環境課)

成果と課題

・地震時の倒壊を防ぎ、通行人の安全確保を図るため現在の制度を維持する。(まちづくり課)
・成果:危険空家(特定空家等)の件数を減少。課題:個人の財産なので実施に際しては、慎重な対応が必要。危険空家(特定空家等)の判定にも基準を見直す必要がある。(移住定住推進課)
・空間放射線量については、市民の安全・安心な暮らしを確保するため、定期的な測定により除染基準値の把握に努めているが、東日本大震災に伴う原子力発電所の事故より相当の期間が経過し、また除染基準値を大幅に下回る数値で推移していることから、測定頻度の見直しが必要と考える。(市民環境課)

今後の方針（施策の方向性）

- ・地震時の倒壊を防ぎ、通行人の安全確保を図るため現在の制度を維持する。(まちづくり課)
- ・空き家の増加が見込まれる中、危険空家となる前の対応として、管理不全空家等の判断を行い、適正管理を図り、助言・指導等適正管理や相談・広報・セミナー等で所有者の認知向上を図る。「相続財産清算制度」を活用し、相続放棄・所有者不明等の危険空家(特定空家等)の解体解消を図る。(移住定住推進課)
- ・公害発生抑制に向けては、環境関係法令で規制されている行為について引き続き周知を図っていくとともに、行為者に対しては厳正な指導と併せ規制を認識させることで、再発防止を図っていく。(市民環境課)

施策に関する事務事業

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
第3次飯山市環境基本計画	令和4年度～令和13年度	市民環境課
飯山市空家等対策計画	令和5年度～令和9年度 ～	移住定住推進課

基本目標 01 美しい自然環境を守り、クリエイトするまち

行政分野 02 自然環境・景観・自然エネルギー・利雪・楽雪・土地利用

施策 03 脱炭素の地域づくり

上段：目 標
中段：実 績
下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	本市の温室効果ガス（二酸化炭素）排出量 ※H22年度と比較した場合の減少率	成 果	%	H22年度比で13%減（R3）	20 20 ◎	26 - -	32 - -	38	44
	（ゼロカーボン推進課）〔指標設定の要素〕 脱炭素社会の実現								
②	市の公共施設への再生可能エネルギー設備設置件数	活 動	数	2（R3）	1 0 ×	1 0 ×	1 1 ◎	1	1
	（ゼロカーボン推進課）〔指標設定の要素〕 再生可能エネルギーの普及促進								
③									
④									
⑤									
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

・温室効果ガスの減少率はH22年度比で評価するが、指標は環境省の「自治体排出量カルテ」を参照しており、公表は2年遅れとなっている。R7の実績値は現時点でまだ公表されていないため記載することができない。R5については目標値達成となった。市の公共施設への再生可能エネルギー設備の設置については、R7に城北小学校の新校舎に設置した。（ゼロカーボン推進課）

成果と課題

公共施設への再生可能エネルギー設備導入の財源として国県の補助金を見込んでいるが、補助要件に適合するかの調査が必要となる。(ゼロカーボン推進課)

今後の方針（施策の方向性）

・再生可能エネルギーの中でも太陽光発電設備の設置は、目標達成に向けての有力な選択肢となる。補助要件への適合性を調査し、公共施設への導入を推進する。(ゼロカーボン推進課)

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
地球温暖化対策地方公共団体実行計画「区域施策編」	令和7年度～令和12年度	ゼロカーボン推進課
地球温暖化対策地方公共団体実行計画「事務事業編」	令和5年度～令和12年度	ゼロカーボン推進課
	～	

基本目標 01 美しい自然環境を守り、クリエイトするまち

行政分野 02 自然環境・景観・自然エネルギー・利雪・楽雪・土地利用

施策 04 利雪、楽雪

上段：目 標

中段：実 績

下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	雪エネルギーを活用した熱交換施設（低温貯蔵倉庫等）数 (企画財政課)	活動	数	1 (R4)	1 1 ◎	1 1 ◎	1 1 ◎	1	1
				〔指標設定の要素〕 雪の活用					
②	いいやま雪まつり来場者数 (企画財政課)	成果	人	30,000 (R4)	50,000 45,000 ◎	50,000 35,000 ○	50,000 40,000 ◎	50,000	50,000
				〔指標設定の要素〕 楽雪					
③									
④									
⑤									
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

農業、商業関係者との連携により雪室施設の適正な管理を実施できた。
雪まつり当日は降雪の影響等もあり目標を下回ったが、実行委員会が主体となってPR等を積極的に行うこと
で昨年より多くのお客様に来場していただくことができた。(企画財政課)

成果と課題

・雪室の適正管理を継続することで雪室を利用した商品、農産物のPR、販売促進に寄与した。
飯山市の冬の象徴である雪まつりを市内外に広くPRすることで飯山市の冬の魅力を発信することができた。
(企画財政課)

今後の方針（施策の方向性）

・「利雪・楽雪」による雪の魅力・価値向上をめざして関係団体等との連携・支援を継続する。(企画財政課)

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 01 美しい自然環境を守り、クリエイトするまち

行政分野 02 自然環境・景観・自然エネルギー・利雪・楽雪・土地利用

施策 05 循環型の地域づくり

上段：目 標
中段：実 績
下段：達成度

施策評価の指標と実績

指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
① エコパーク寒川での1 日あたりのごみ処理 量 (市民環境課)	成 果	グ ラ ム	738 (R3)	730 714 ◎	723 743 ◎	715 747 ◎	707	699
			〔指標設定の要素〕 ごみ減量とその啓発					
② 1人1日当たりごみ 排出量 (市民環境課)	成 果	グ ラ ム	811 (R3)	800 764 ◎	795 798 ◎	790 - -	790	790
			〔指標設定の要素〕 資源回収・再生利用とその啓発					
③ 不法投棄対応件数 (市民環境課)	活 動	件	16 (R3)	25 17 △	21 21 ◎	18 17 ◎	14	11
			〔指標設定の要素〕 不法投棄対策					
④								
⑤								
⑥								
⑦								
⑧								
⑨								
⑩								

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

・指標①は目標値及び前年実績ともに上回ったが、要因としては不燃性粗大ごみの直接搬入量の増加であることが考えられる。

・耐久消費財は耐用年数経過後も使用される傾向にあり、最終的な廃棄は占有者の意思に左右されるため、ごみとして排出される時期が一律でない。また家庭ごみの一掃作業により多量に排出されることもある。(市民環境課)

成果と課題

- ・耐久消費財はその性質上、先の占有者が不要と判断しても、使用に耐える限りは他者が有用とする場合がある。
- ・このため、他のごみとは処遇を区別し、有効利用に繋げる発想が必要。(市民環境課)

今後の方針（施策の方向性）

・市のリユースコーナー及びエコパーク寒川リサイクルフェア等を通じ、粗大ごみ発生量の抑制を図っていく。
(市民環境課)

施策に関連する事務事業

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
第3次飯山市環境基本計画	令和4 年度 ~ 令和13 年度	市民環境課
一般廃棄物処理基本計画	令和3 年度 ~ 令和7 年度	市民環境課
	~	

基本目標 01 美しい自然環境を守り、クリエイトするまち

行政分野 02 自然環境・景観・自然エネルギー・利雪・楽雪・土地利用

施策 06 環境学習、環境保全活動の推進

上段：目 標

中段：実 績

下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	市主催の環境イベントの開催数	活動	回	1 (R4)	1 1 ◎	1 1 ◎	1 1 ◎	1	1
	(ゼロカーボン推進課)	〔指標設定の要素〕 自然環境保全活動、市民の関心の向上							
②	市民団体等の環境に関する取組への支援	活動	団体	0 (R4)	0 0 -	3 3 ◎	3 3 ◎	4	4
	(市民環境課)	〔指標設定の要素〕 活動支援							
③									
④									
⑤									
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

- ・地球温暖化対策とカーボンニュートラルへの理解を深め、市民一人ひとりの行動変容を促すことを目的に、脱炭素フェアを開催した。(ゼロカーボン推進課)
- ・市民団体等が実施する環境への取組に対し、課を横断して支援を行った。(市民環境課)

成果と課題

- ・カーボンニュートラル実現に向けて、市民や事業者が関心を持てるよう、具体的かつ効果的なテーマや内容を設定する必要がある。(ゼロカーボン推進課)
- ・市民団体の取組により、市民の環境保全への意識の高揚が図られている。(市民環境課)

今後の方針（施策の方向性）

- ・市民一人ひとりの行動変容を促すため、気候変動対策である「緩和策＝地球温暖化対策」と「適応策＝防災・減災対策」の重要性を親しみやすく伝えていく。(ゼロカーボン推進課)
- ・環境保全の重要性を市民団体とともに啓発していく。(市民環境課)

施策に関連する事務事業

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 01 美しい自然環境を守り、クリエイトするまち

行政分野 02 自然環境・景観・自然エネルギー・利雪・楽雪・土地利用

施策 07 地域特性を活かした市土利用

上段：目 標

中段：実 績

下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	まちづくり懇談会の開催数	活動	回	0 (R4)	1 1 ◎	1 2 ◎	1 2 ◎	1	0
	(まちづくり課)	〔指標設定の要素〕 持続可能な都市構造							
②	共同活動の対象農地面積	成果	ha	896 (R4)	900 896 ◎	900 900 ◎	900 900 ◎	900	900
	(農業政策課)	〔指標設定の要素〕 地域の特性を活かした土地利用							
③	里山整備面積	成果	ha	7 (R4)	9 10 ◎	9 7 ○	18 6 ×	21	23
	(森林農地整備課)	〔指標設定の要素〕 多面的機能が発揮できる森林整備							
④	公有財産の活用	成果	箇所	0 (R4)	1 0 ×	1 0 ×	1 0 ×	1	1
	(総務課)	〔指標設定の要素〕 遊休地、空き施設利活用							
⑤	森林面積	成果	ha	12,106 (R2)	12,106 12,113 ◎	12,106 12,113 ◎	12,106 12,113 ◎	12,106	12,106
	(森林農地整備課)	〔指標設定の要素〕 多面的機能が発揮できる森林整備							
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

・持続可能な里山の未来に向けて、国土交通省モデル事業(飯山市土管理構想)を活用し、斑尾高原や富倉地区の関係者と懇談することができた。(まちづくり課)

・多面的機能支払交付金事業において、地域ぐるみでの農地・農業用施設の保全管理が継続されている。令和6年度から森林整備事業として「里山整備事業(緩衝帯整備)」を創設し鳥獣被害防止対策として森林整備の促進を行ったが新制度でもあるため、目標に達しなかった。(森林農地整備課)

成果と課題

・第3次飯山市国土利用計画(市土に関する計画)の5つの取り組みについて、特に国際化が進む斑尾高原については県境・市境を跨ぐため、国・県・市および庁内各部局、各種団体、事業所と密接に連携し事業を進める必要がある。(まちづくり課)

・活動組織個々の総意による、水路等の維持管理や更新が行われ、機能回復・長寿命化が図られているが、組織を維持するための負担が大きい。緩衝帯整備を進めることができたが、地元負担の増加が課題である。(森林農地整備課)

今後の方針（施策の方向性）

- ・市土全体の環境保全と市土の適切な利用と管理について、制度設計や条例整備等を積極的に進める。(まちづくり課)
- ・学習会や説明会を開催し、各組織のサポートを行う。地元や個人へ事業説明を行い、飯山市森林整備計画に沿って森林整備事業の推進を図る。(森林農地整備課)

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
飯山市まちづくり基本計画(都市計画マスタープラン+立地適正化計画)	令和2 年 ~ 令和22 年	まちづくり課
飯山市第3次国土利用計画(飯山市の市土に関する計画)	令和5 年 ~ 令和14 年 ~	まちづくり課

基本目標 01 美しい自然環境を守り、クリエイトするまち

行政分野 03 観光・交流・関係人口

施策 01 広域観光の推進

上段：目 標

中段：実 績

下段：達成度

施策評価の指標と実績

指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
① イベント等でのプロモーション実施数	活動	回	10 (R4)	10 ◎	10 ◎	10 ◎	10	10
(商工観光課)	〔指標設定の要素〕 広域観光							
② 道の駅アクティビティ拠点を起終点又は中継点とする体験	活動	数	0 (R4)	5 ◎	10 ◎	15 ◎	20	25
(商工観光課)	〔指標設定の要素〕 千曲川の活用							
③								
④								
⑤								
⑥								
⑦								
⑧								
⑨								
⑩								

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

- ・信越9市町村広域観光連携などによる各所イベントやWEBメディア、SNS、TVなどへの継続的なプロモーション活動が実施できた。
- ・前年度実施した体験メニューに加え、関係機関等の協力により、さらに拡充してより多くの体験メニューの提供が実現できた。（商工観光課）

成果と課題

- ・信越9市町村広域観光連携会議の取組を構成市町村と進めることで、飯山駅をハブとした質の高い体制構築と広域イベント等の開催、観光客目線に立った情報発信により、地域全体の魅力向上に繋げることができた。
- ・信越自然郷における「サイクルツーリズム」を核とした広域観光の連携及び体制強化、国のDMO組織の見直しによる地域連携DMO廃止に伴う広域連携組織のあり方が課題となっている。
- ・花に関するワークショップやアクティビティ体験等の提供が充実してきている。マンネリ化しないよう毎年内容を工夫することが必要と思われる。(商工観光課)

今後の方針（施策の方向性）

・信越9市町村広域観光連携会議構成市町村の観光やサイクルツーリズム等の情報収集及び案内や発信等を構成市町村と引き続き進めるとともに、課題解決に向け協議、検討を進めていく。
・現在の体験メニューのうち参加者が多いコンテンツは継続しつつ、新たな体験メニューの造成も関係機関と協力しながら進めていく。(商工観光課)

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 01 美しい自然環境を守り、クリエイトするまち

行政分野 03 観光・交流・関係人口

施策 02 魅力ある観光プログラムの構築

上段：目 標

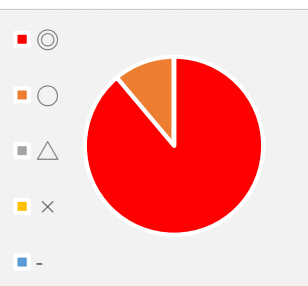
中段：実 績

下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	外国人の飯山駅観光交流センター来場者割合	成 果	%	5.3 (R4)	23 25 ◎	23 33 ◎	23 36 ◎	23	23
	(商工観光課)	〔指標設定の要素〕 地域資源活用							
②	飯山駅観光交流センター来場者数	成 果	人	87,684 (R4)	90,000 90,092 ◎	95,000 96,774 ◎	100,000 106,642 ◎	105,000	110,000
	(商工観光課)	〔指標設定の要素〕 観光団体支援、受け入れ体制づくり							
③	観光入込客数	成 果	人	513,200 (R3)	685,000 1,847,100 ◎	1,912,500 2,065,000 ◎	1,978,000 2,019,300 ◎	2,043,500	2,109,000
	(商工観光課)	〔指標設定の要素〕 魅力ある多様な観光プログラムづくり							
④	観光消費額（※暦年集計）	成 果	億 円	30 (R3)	69 61 ◎	72 74 ◎	72 74 ◎	72	72
	(商工観光課)	〔指標設定の要素〕 魅力ある多様な観光プログラムづくり							
⑤	アクティビティセンター自転車レンタル数	成 果	台	1,803 (R4)	1,843 1,857 ◎	1,883 1,748 ◎	1,923 1,472 ○	1,963	2,003
	(商工観光課)	〔指標設定の要素〕 自転車活用							
⑥	観光施設のユニバーサルデザイン化の数	活 動	数	1 (R4)	2 2 ◎	3 3 ◎	4 3 ○	5	6
	(商工観光課)	〔指標設定の要素〕 インバウンド・施設整備							
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況(5年間累計)		R5	R6	R7	R8	R9	計
8割以上	◎	6	6	4	0	0	16
7割以上～8割未満	○	0	0	2	0	0	2
5割以上～7割未満	△	0	0	0	0	0	0
5割未満	×	0	0	0	0	0	0
未定・不明	-	0	0	0	0	0	0



達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

・スキー等を目的としたインバウンド客や「かまくらの里」、道の駅「花の駅千曲川」等の観光資源を活かし、目標を上回る入込状況となっている。
 ・夏休み等で人が1番移動する7月から9月の猛暑や熊の影響により、屋外のアクティビティ需要が減少し、自転車レンタル数の減に繋がったと考える。（商工観光課）

成果と課題

・様々な観光資源の活用により市内各地域の誘客を図っている。
 ・主にグリーン期について、インバウンド客を含めた更なる誘客のため観光コンテンツの磨き上げやプロモーションを戦略的に実施していく必要がある。
 ・飯山線サイクリストレイン（替佐駅～森宮野原駅）を活用したプラン造成、インバウンド向けサイクリングツアーの実施、「JAPAN ALPSCYCLING」や「JAPAN ECO TRACK」を活用した誘客促進と受入環境整備等について、信越9市町村と連携して行なうことにより、サイクルツーリズムを推進することができた。（商工観光課）

今後の方針（施策の方向性）

・現在ある観光資源を活用し、信越自然郷等の広域連携も進めながら誘客を図っていく。
 ・信越9市町村連携による信越自然郷アクティビティセンターを拠点とした国内外に向けたサイクルツーリズム推進のための圏域内ルート環境整備と受入体制の充実を引き続きいく。（商工観光課）

施策に関連する事務事業

（事務事業評価対象：二次経費）

事務事業名	担当課	事業費(千円)	評価	事務事業名	担当課	事業費(千円)	評価
誘客宣伝観光振興事業	商工観光課	55,333	継続	観光施設整備事業	商工観光課	8,798	継続
まちなか観光推進事業	商工観光課		統合				
スポーツツーリズム推進事業	スポーツ推進課	450	統合				
インバウンド推進事業	商工観光課	5,947	継続				
観光施設指定管理事業	商工観光課	128,694	継続				
観光局運営事業	商工観光課		統合				
ヘルスツーリズム推進事業	商工観光課		廃止				
観光施設整備事業	商工観光課	8,798	継続				
観光イベント等補助事業	商工観光課	5,805	継続				
夏まつり事業	商工観光課		統合				
宿泊施設等整備補助事業	商工観光課	4,000	継続				
自転車活用推進事業	商工観光課	2,474	継続				

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 01 美しい自然環境を守り、クリエイトするまち

行政分野 03 観光・交流・関係人口

施策 03 観光資源の磨き上げ

上段：目 標

中段：実 績

下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	道の駅「花の駅千曲川」の利用者数	成 果	人	907,539 (R4)	950,000 1,143,261 ◎	990,000 1,272,723 ◎	1,030,000 1,265,034 ◎	1,070,000	1,100,000
	(商工観光課)			〔指標設定の要素〕 道の駅拠点整備					
②	観光入込客数	成 果	人	513,200 (R3)	685,000 1,847,100 ◎	1,912,500 2,065,000 ◎	1,978,000 2,019,300 ◎	2,043,500	2,109,000
	(商工観光課)			〔指標設定の要素〕 地域の観光資源の磨き上げ					
③									
④									
⑤									
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

魅力的なコンテンツの提供により、道の駅の利用者数及び観光入込客数共に目標を上回る集客があった。(商工観光課)

成果と課題

・道の駅「花の駅千曲川」は、アウトドアアクティビティの名所として知られる飯山市の自然資源を活かし、令和5年11月に既存の道の駅に隣接するアウトドアアクティビティ拠点として「ビジターセンター」と「アウトドア用品販売施設」を整備し、アウトドア、農業、観光の融合による関係人口の増加を図っている。(商工観光課)

今後の方針（施策の方向性）

・アクティビティ拠点の年間来場者数の更なる増加を目指し、アクティビティ拠点を起終点又は中継点とする体験メニューの造成数の充実を図っていく。(商工観光課)

施策に関連する事務事業

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 01 美しい自然環境を守り、クリエイトするまち

行政分野 03 観光・交流・関係人口

施策 04 多様な交流・関係人口創出

上段：目 標

中段：実 績

下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	イベント交流の参加回数	活動	回	11 (R4)	25 21 ◎	25 21 ◎	25 19 ○	25	25
	(商工観光課)	〔指標設定の要素〕 都市交流・協定、市民交流							
②	関係人口	成果	人	12,220 (R4)	17,200 14,699 ◎	18,400 14,634 ○	19,600 14,015 ○	20,800	22,200
	(企画財政課)	〔指標設定の要素〕 ふるさと納税を活用した関係人口の創出							
③	関係人口と定住人口の合計数	成果	人	31,159 (R4)	36,200 29,626 ◎	37,150 32,635 ◎	38,100 31,586 ◎	39,050	40,000
	(企画財政課)	〔指標設定の要素〕 副業と地域課題解決							
④									
⑤									
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

・ふるさと納税返礼品の多様化、自治体間の競争激化などの理由により寄附者数が減少したため目標未達成となった。(企画財政課)
・各交流都市とのイベント相互出展等の交流を行い、目標値に近い水準で積極的・継続的な交流を行っている。(商工観光課)

成果と課題

- ・ふるさと納税返礼品の多様化、自治体間の競争激化に対応していく必要がある。(企画財政課)
- ・天然雪を利活用したイベントや大阪市花博鶴見緑地公園への菜の花の植栽など、多様な形の交流を創出している。(商工観光課)

今後の方針（施策の方向性）

ふるさと納税返礼品の開発・寄附したくなる使途づくり・リピーター対策などの施策展開を行う。(企画財政課)
引き続き都市交流を推進し、相互協力関係の構築及び関係人口の増加に繋げていく。(商工観光課)

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 01 美しい自然環境を守り、クリエイトするまち

行政分野 04 住宅・移住定住

施策 01 移住定住の推進

上段：目標

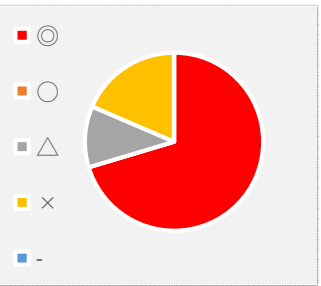
中段：実績

下段：達成度

施策評価の指標と実績

指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
① 移住者数（※期間累計）	成果	人	625（H30～R4の累計）	100 113 ◎	200 234 ◎	300 361 ◎	400	500
（移住定住推進課）	〔指標設定の要素〕 情報提供・相談対応							
② 移住者住宅建設支援件数（※期間累計）	活動	件	19（R4）	16 29 ◎	32 46 ◎	48 67 ◎	64	80
（移住定住推進課）	〔指標設定の要素〕 移住支援							
③ 定住支援事業を活用した定住者数（※期間累計）	成果	人	197（R4）	65 165 ◎	130 274 ◎	195 525 ◎	260	325
（移住定住推進課）	〔指標設定の要素〕 市内若者定住支援							
④ 1年間の成婚組数	成果	組	68（R4）	70 29 ×	75 50 △	80 31 ×	85	90
（移住定住推進課）	〔指標設定の要素〕 結婚支援							
⑤ 公営住宅の整備件数	活動	戸	0（R4）	6 0 ×	0 6 ◎	6 6 ◎	0	0
（移住定住推進課）	〔指標設定の要素〕 住宅の整備・確保							
⑥ 移住・定住住宅の整備件数	活動	戸	0（R4）	2 2 ◎	2 3 ◎	2 1 △	2	2
（移住定住推進課）	〔指標設定の要素〕 住宅の整備・確保							
⑦ 空き家バンクへの新規登録件数（※期間累計）	成果	件	45（R4）	20 25 ◎	40 72 ◎	60 105 ◎	80	100
（移住定住推進課）	〔指標設定の要素〕 空き家バンク							
⑧ サテライトオフィス数	活動	数	1（R4）	1 1 ◎	1 1 ◎	1 1 ◎	1	1
（商工観光課）	〔指標設定の要素〕 多様な働き方の推進、雇用・就業情報の提供及び相談							
⑨ 新卒のJR補助件数	活動	件	10（R4）	12 1 ×	12 4 ×	12 6 △	12	12
（移住定住推進課）	〔指標設定の要素〕 流出抑制							
⑩								

達成状況(5年間累計)		R5	R6	R7	R8	R9	計
8割以上	◎	6	7	6	0	0	19
7割以上～8割未満	○	0	0	0	0	0	0
5割以上～7割未満	△	0	1	2	0	0	3
5割未満	×	3	1	1	0	0	5
未定・不明	-	0	0	0	0	0	0



達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

・関係機関との連携により、効果的で積極的な情報発信を行い、丁寧な相談・対応を行った。成婚組数については、コロナ禍を経て数年が経過した、という社会的要因が主因と考えられる。公営住宅の整備については、曙町団地A棟に続きB棟の建設工事が完了し、飯山市公営住宅長寿命化計画に基づき実施できている。空き家バンクへの新規登録件数については、地区への周知を強化した。（移住定住推進課）
 ・企業誘致の中でサテライトオフィス誘致を併せて実施した。飯山市起業支援センター内に1社がサテライトオフィスを継続して設置している。（商工観光課）

成果と課題

・成婚組数を増加させるため、事業の選択と集中を行う。新卒JR補助は、ポスティング回数を増やし事業のさらなる浸透を図る。住宅建替による移転後の家賃上昇、移住定住促進住宅整備を実施する居室の確保が課題。空き家バンク登録制度が徐々に広まっている。相続登記義務化や不動産登記制度等の情報提供を図る。（移住定住推進課）
 ・サテライトオフィス誘致に向けた企業誘致活動を実施しているが、興味を示す企業はほとんどない状況。観光地・飲食店隣接や景観がいいなど、県外企業がサテライトオフィスに求めるメリットがない状況のため、それ以外で入居したいと思えるようなメリットを創っていく必要がある。（商工観光課）

今後の方針（施策の方向性）

・全国の市町村が移住者市場に参入し状況は厳しいが、今後もきめ細やかな対応と積極的な各種SNSを活用し情報発信を行う。公営住宅については、水上団地にて1棟5戸の改修工事を予定している。空き家バンクについては地域の情報を集約しアンケートを実施。バンクへの登録相談を促し、空家にならないように図る。新卒のJR補助については、各種SNSを活用し、効果的な広報により周知を徹底し事業の浸透を図る。（移住定住推進課）
 ・⑧県外企業へのサテライトオフィス設置に向けた誘致活動の実施、他自治体の施設等の研究、サテライトオフィス誘致を得意とする企業との情報交換。（商工観光課）

施策に関連する事務事業

（事務事業評価対象：二次経費）

事務事業名	担当課	事業費(千円)	評価	事務事業名	担当課	事業費(千円)	評価
移住・定住推進事業	移住定住推進課	6,558	継続				
移住支援事業	移住定住推進課	19,600	継続				
定住支援事業	移住定住推進課	11,100	継続				
結婚新生活支援事業	移住定住推進課	1,500	継続				
さわやか婚活応援事業	移住定住推進課	3,068	継続				
市営住宅整備事業	移住定住推進課	20,386	継続				
飯山市移住定住促進住宅整備事業	移住定住推進課	8,500	継続				
若者住宅整備事業	移住定住推進課		なし				
移住支援事業	移住定住推進課	19,600	継続				
飯山市企業誘致・移住支援事業	商工観光課	6,400	継続				
定住支援事業	移住定住推進課	11,100	継続				

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 01 美しい自然環境を守り、クリエイトするまち

行政分野 05 魅力発信

施策 01 地域住民への広報

上段：目 標

中段：実 績

下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	飯山市公式SNSの登録者数 (facebook、X、Instagram、 LINE、youtubeのフォロワー、 友達・チャンネル登録数)	成 果	数	9,241 (R4)	9,600 12,998 ◎	13,100 14,528 ◎	15,000 16,262 ◎	15,000	15,000
	(事業戦略課)	〔指標設定の要素〕 広報							
②	CATV（テレビ）加入 率	成 果	%	57.7 (R4)	58 57 ◎	56 56 ◎	56 55 ◎	56	56
	(事業戦略課)	〔指標設定の要素〕 CATVサービス							
③									
④									
⑤									
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

①飯山市公式SNSの登録者数

SNSでの情報発信全体に関しては年々伸びており、昨年比で6%増となっており需要がある。各SNS全体的に利用者が増加しており、YouTubeが11%増、LINEは6%増、Instagramは12%増となっている。

②CATV(テレビ)加入率

ケーブルテレビに関しては、昨年比で1.2%減となっており、テレビの減少が大きい状況。ネットでのニュース放送、YouTube動画、Netflix、Tverなどの普及により、テレビ放れが進んでいると思われる。(事業戦略課)

成果と課題

飯山市では、広報飯山、防災無線、情報配信メール、ホームページ、YouTube、Facebook、X、Instagram、プレスリリースと多様なチャンネルで広報し、より多くの方に情報を届けることができた。また、各課からのお知らせに関しては、地域おこし協力隊との連携により、動画を作成し、YouTubeやInstagramで発信し、再生回数も伸びている。

CATVに関しては、市政広報番組で行政の伝わりづらい情報を映像により伝えることができた。(事業戦略課)

今後の方針（施策の方向性）

引き続き、多様な媒体を使い情報発信を行うほか、地域おこし協力隊と連携を図り、動画でのお知らせの発信など、需要が高まっているSNSなどにより地域住民への広報を行っていききたい。(事業戦略課)

施策に関連する事務事業

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 01 美しい自然環境を守り、クリエイトするまち

行政分野 05 魅力発信

施策 02 情報発信の充実

上段：目 標

中段：実 績

下段：達成度

施策評価の指標と実績

指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
① 飯山市公式SNSの登録者数 (facebook、X、Instagram、 LINE、youtubeのフォロワー、 友達・チャンネル登録数)	成 果	数	9,241 (R4)	9,600 12,998 ◎	13,100 14,528 ◎	15,000 16,262 ◎	15,000	15,000
(事業戦略課)	〔指標設定の要素〕 シティプロモーション							
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
⑦								
⑧								
⑨								
⑩								

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

SNSでの情報発信全体に関しては年々伸びており、昨年比で6%増となっており需要がある。各SNS全体的に利用者が増加しており、YouTubeが11%増、LINEは6%増、Instagramは12%増となっている。(事業戦略課)

成果と課題

昨年方針が変わり、紙ベースではなく、データベースの要覧を作成することになり、飯山市の四季についてまとめた映像を作成し、SNSで発信しているほか、成人式や各種イベントなどで活用している。(事業戦略課)

今後の方針（施策の方向性）

用途によって必要な時間や内容が異なるため、四季の風景だけでなく、パターンの異なる映像を作成し、情報発信の充実を図りたい。(事業戦略課)

施策に関する事務事業

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 01 美しい自然環境を守り、クリエイトするまち

行政分野 06 デジタル化

施策 01 デジタル技術を活用した市民・来訪者サービスの構築

 上段：目 標
 中段：実 績
 下段：達成度

施策評価の指標と実績

指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
① 市民および来訪者サービスDXに関する取組 (事業戦略課)	活動	件	— (R4)	0	1	1	1	0
				0	1	1		
				-	◎	◎		
			〔指標設定の要素〕 DX推進					
② 業務のスマート化に関する取組 (※期間累計) (事業戦略課)	活動	数	— (R4)	1	3	5	7	10
				1	3	5		
				◎	◎	◎		
			〔指標設定の要素〕 DX推進					
③								
④								
⑤								
⑥								
⑦								
⑧								
⑨								
⑩								

達成状況(5年間累計)		R5	R6	R7	R8	R9	計
8割以上	◎	1	2	2	0	0	5
7割以上～8割未満	○	0	0	0	0	0	0
5割以上～7割未満	△	0	0	0	0	0	0
5割未満	×	0	0	0	0	0	0
未定・不明	-	1	0	0	0	0	1

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

窓口や公共施設におけるキャッシュレス化を導入し、住民や来訪者の利便性向上を図った。また、庁内業務ではRPAやAIを活用し、業務の効率化を推進した。（事業戦略課）

成果と課題

DX推進計画に基づき事業を実施した。なお、高齢者対応やデジタルリテラシーの差が課題であるほか、導入コストや職員のスキル習得など誰もが使える仕組みや研修が必要。（事業戦略課）

今後の方針（施策の方向性）

市民のニーズや社会情勢の変化を踏まえ、DX推進計画に基づき、具体的な施策を実行していく。（事業戦略課）

施策に関連する事務事業

（事務事業評価対象：二次経費）

事務事業名	担当課	事業費(千円)	評価	事務事業名	担当課	事業費(千円)	評価
情報政策事務費	事業戦略課	84,285	-				
D X システム整備事業	事業戦略課	41,721	継続				
飯山市 D X 推進事業	事業戦略課	29,401	継続				
飯山市ふるさと館キャッシュレス決済システム導入事業	市民学習支援課		完了				
飯山市美術館キャッシュレス決済システム導入事業	文化交流課		完了				
飯山市文化交流館キャッシュレス決済システム導入事業	文化交流課		完了				
庁内システム更新事業	事業戦略課	55,900	継続				
飯山市 D X 推進事業	事業戦略課	29,401	継続				

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 01 美しい自然環境を守り、クリエイトするまち

行政分野 06 デジタル化

施策 02 デジタルインフラ整備

上段：目標

中段：実績

下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	wi-fi機器整備箇所数	成果	数	17 (R4)	17 17 ◎	17 17 ◎	17 17 ◎	17	0
	(事業戦略課)	〔指標設定の要素〕 デジタルインフラ							
②	マイナンバーカード 人口に対する交付枚 数率	成果	%	61.6 (R4)	67 69 ◎	73 74 ◎	79 97 ◎	84	90
	(市民環境課)	〔指標設定の要素〕 マイナンバーカード							
③									
④									
⑤									
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

・公衆Wi-Fiの設置については、必要な箇所は整備済みで新たなニーズはなかった。(事業戦略課)
・現行の保険証制度が令和6年12月2日に終了し、マイナンバーカードでの保険証利用を基本とする仕組みに移行するのにあわせて、令和7年度も引き続き新規のマイナンバーカード取得者が増加した。(市民環境課)

成果と課題

・既設Wi-Fiの安定した稼働により住民や来場者サービスの向上に寄与した。今後の国全体のデジタル化の動向により、Wi-Fi整備の必要性について検討が必要である。(事業戦略課)

・交付枚数の増加に伴い、マイナンバーカードの基本的な機能・メリットである証明書のコンビニ交付の利用増加やマイナポータルからの転出手続きの増加、保険証利用が進んだ。保険証利用に伴い具体的な利用の機会が増えたことから、マイナンバーカードの機能への理解が進んだものと考えられる。ただし、今後一層の取得を推進するためには、利用しやすい新たなメリットがないと、交付枚数率増加は難しい。(市民環境課)

今後の方針（施策の方向性）

- ・新規整備については、住民ニーズや費用対効果を踏まえ検討していく。(事業戦略課)
- ・基本的な機能である公金受取口座の活用やマイナンバーカードを利用したフロントヤード改革など、庁内全体での検討が必要と考える。(市民環境課)

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 02 未来を拓く子どもたちが育つ共育のまち

行政分野 01 子育て

施策 01 魅力ある保育サービスの推進

上段：目 標

中段：実 績

下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	月平均延長保育実施 日数（私立保育園）	活 動	日	24（R4）	25 25 ◎	25 25 ◎	25 25 ◎	25	25
	（子ども育成課）	〔指標設定の要素〕 保育環境・保育サービス							
②	休日保育実施日数	活 動	日	70（R4）	72 72 ◎	71 71 ◎	71 71 ◎	72	70
	（子ども育成課）	〔指標設定の要素〕 保育環境・保育サービス							
③	一時預かりの受入率	成 果	%	100（R4）	100 100 ◎	100 100 ◎	100 100 ◎	100	100
	（子ども育成課）	〔指標設定の要素〕 保育環境・保育サービス							
④	待機児童数	成 果	人	0（R4）	0 0 ◎	0 0 ◎	0 0 ◎	0	0
	（子ども育成課）	〔指標設定の要素〕 保育環境・保育サービス							
⑤									
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

市内2園を実施指定保育園として一時預かり事業を実施しており、公立1園においては専任保育士を配置している。これにより、安定した受入体制を確保し、保護者の一時的な保育ニーズに対応できている。

公立1園(しろやま保育園)で休日保育事業を、公立7園、私立1園が、延長保育事業を実施している。(子ども育成課)

成果と課題

一時預かりについて、市内保育施設において、緊急保育や臨時保育(リフレッシュ保育)を実施することで、保護者の育児負担軽減に寄与している。

現在休日保育、延長保育を利用したい保護者のニーズに対応できているが、休日保育の利用者が増えていることから、職員配置や職員の負担増等、課題がある。

市外からの転入等、途中入園については、希望の園に入れるよう調整するのが難しい場合がある。適正な職員配置をし、保護者の希望に添えるようにするため、保育士確保は重要な課題である。(子ども育成課)

今後の方針（施策の方向性）

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
第三期 飯山市子ども・子育て支援事業計画	令和7年度～令和11年度	子ども育成課
	～	
	～	

基本目標 02 未来を拓く子どもたちが育つ共育のまち

行政分野 01 子育て

施策 02 子育て世代支援

上段：目 標

中段：実 績

下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	各種健診受診率	成 果	%	99 (R3)	100 99 ◎	100 99 ◎	100 99 ◎	100	100
	(保健福祉課)	〔指標設定の要素〕 妊娠～出産～子育てまでのサポートワンストップ窓口							
②	子ども家庭総合支援 拠点の相談員数	活 動	人	4 (R3)	4 4 ◎	4 4 ◎	4 4 ◎	4	4
	(子ども育成課)	〔指標設定の要素〕 子育て相談・支援							
③	合計特殊出生率 (飯山市独自調査) ※暦年集計	成 果	単 位 な し	1.68 (R元～R3平均)	1.69 0.98 △	1.70 1.31 ○	1.70 1.28 ○	1.71	1.71
	(企画財政課)	〔指標設定の要素〕 子育て相談・支援							
④	保健センター利用者 数	成 果	人	5,983 (R4)	5,700 5,323 ◎	5,700 6,982 ◎	5,700 7,274 ◎	5,700	5,700
	(保健福祉課)	〔指標設定の要素〕 妊娠～出産～子育てまでのサポートワンストップ窓口							
⑤	子ども館「きらら」 開所日数	活 動	日	355 (R4)	356 356 ◎	355 355 ◎	355 355 ◎	355	356
	(子ども育成課)	〔指標設定の要素〕 子ども館の活用							
⑥	給付金の受給率	成 果	%	100 (R4)	100 100 ◎	100 100 ◎	100 100 ◎	100	100
	(子ども育成課)	〔指標設定の要素〕 経済的負担の軽減							
⑦	福祉医療の窓口負担 金額	活 動	円	500 (R4)	500 0 ◎	0 0 ◎	0 0 ◎	0	0
	(保健福祉課)	〔指標設定の要素〕 経済的負担の軽減							
⑧	給食費の負担軽減補 助率	活 動	割	0 (R4)	4 4 ◎	4 5 ◎	4 7 ◎	5	5
	(子ども育成課)	〔指標設定の要素〕 経済的負担の軽減							
⑨									
⑩									

達成状況(5年間累計)		R5	R6	R7	R8	R9	計
8割以上	◎	7	7	7	0	0	21
7割以上～8割未満	○	0	1	1	0	0	2
5割以上～7割未満	△	1	0	0	0	0	1
5割未満	×	0	0	0	0	0	0
未定・不明	-	0	0	0	0	0	0

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

・手当・給付金に関して、市民環境課や家庭児童相談室など庁内の関係部署と密に連携し、組織的に対応することで、高い受給率を維持している。相談員を4名配置し、庁内外の専門機関と連携することで、適切な支援体制を整え、幅広いニーズに対応している。保護者の経済的負担を軽減することを目的とし、児童生徒の保護者が負担する給食費の補助率を5割→7割に拡充した(子ども育成課)

・乳幼児の健やかな成長と保護者の心身の健康維持のため、各種事業や健診の実施ができた。(保健福祉課)

成果と課題

・子ども館「きらら」を、お盆と年末年始を除き毎日開館することで、保護者や子どもたちにとって安心して利用できる場を提供できている。相談員4名が庁内外の専門機関と連携し、適切な支援を提供することで、安心して生活できる環境の整備に貢献している。合計特殊出生率は低い水準で推移しており、少子化対策は依然として困難な課題となっている。虐待やDVに関する緊急性の高い相談が年々増加しており、専門的な資格を持つ人材の配置が必要になっている。(子ども育成課)

・妊娠期から出産、子育て期にわたる切れ目のない支援を提供している。保健センターでは各種健診や健康事業、母子保健事業など幅広く提供する場として活用している。(保健福祉課)

今後の方針（施策の方向性）

・令和8年度から学校給食費補助金について補助率を7割→9割に引き上げ(子ども育成課)

・子育ての一助となる環境や事業の充実を継続していく。保健センターについては適切な施設修繕を計画し老朽化に対応していく。(保健福祉課)

施策に関連する事務事業

(事務事業評価対象：二次経費)

事務事業名	担当課	事業費(千円)	評価	事務事業名	担当課	事業費(千円)	評価
母子保健事業	保健福祉課	41,126	継続				
こども女性家庭センター運営事業	子ども育成課	23,078	継続				
人口動態調査事業	市民環境課	0	----				
保健センター改修事業	保健福祉課	660	継続				
飯山市子ども館等運営事業	子ども育成課	41,879	継続				
児童クラブ等運営事業	子ども育成課	41,491	継続				
城北中学校区統合小学校児童クラブ整備事業	子ども育成課		完了				
児童手当給付事業	子ども育成課	317,552	継続				
児童扶養手当等給付事業	子ども育成課	69,344	継続				
医療給付事業	保健福祉課	140,000	継続				
学校給食費負担軽減事業	子ども育成課	77,112	拡充				
幼児教育無償化事業	子ども育成課	5,434	継続				

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 02 未来を拓く子どもたちが育つ共育のまち

行政分野 02 教育

施策 01 生き抜く力を育むための教育

上段：目 標

中段：実 績

下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	小学生全国学力テスト（全国平均を100とした場合） （子ども育成課）	成果	単位なし	96（R4）	103 99 ◎	103 93 ◎	103 91 ◎	103	103
	〔指標設定の要素〕 学力向上								
②	中学生全国学力テスト（全国平均を100とした場合） （子ども育成課）	成果	単位なし	89（R4）	105 89 ◎	105 104 ◎	105 107 ◎	105	105
	〔指標設定の要素〕 学力向上								
③	小学校の一番忙しい時期の教職員の平均時間外勤務70時間以下の割合 （子ども育成課）	成果	%	65（R4）	75 76 ◎	75 73 ◎	75 71 ◎	75	75
	〔指標設定の要素〕 学校業務改善指針（質の高い授業実現）								
④	中学校の一番忙しい時期の教職員の平均時間外勤務70時間以下の割合 （子ども育成課）	成果	%	83（R4）	70 74 ◎	70 69 ◎	70 83 ◎	70	70
	〔指標設定の要素〕 学校業務改善指針（質の高い授業実現）								
⑤	小学生体力テスト（全国平均を100とした場合） （子ども育成課）	成果	単位なし	104（R4）	103 106 ◎	103 105 ◎	103 102 ◎	103	103
	〔指標設定の要素〕 体力向上								
⑥	中学生体力テスト（全国平均を100とした場合） （子ども育成課）	成果	単位なし	104（R4）	105 108 ◎	105 102 ◎	105 101 ◎	105	105
	〔指標設定の要素〕 体力向上								
⑦	小学生の年間学校図書貸出数 （子ども育成課）	成果	冊	113（R4）	110 107 ◎	110 98 ◎	110 114 ◎	110	110
	〔指標設定の要素〕 探求力の育成								
⑧	中学生の年間学校図書貸出数 （子ども育成課）	成果	冊	27（R4）	35 30 ◎	35 28 ◎	35 32 ◎	35	35
	〔指標設定の要素〕 探求力の育成								
⑨									
⑩									

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

・学力向上事業として各学校へ加配教員や支援員を配置し、きめ細かな支援が行われている。学校業務改善指針に基づき、教職員の時間外勤務を把握したり、教職員の意識改革により、学校の業務改善が図られてきている。(子ども育成課)

成果と課題

加配教員において、教員免許所有者が少ないことや県費正規職員の再任用制度が始まるなど、人材確保が困難となっている。(子ども育成課)

今後の方針（施策の方向性）

適切な勤務時間の確保をしながら、教職員として本来の職務である質の高い授業を行うための意識改革や環境をさらに整えていく。(子ども育成課)

施策に関する事務事業

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 02 未来を拓く子どもたちが育つ共育のまち

行政分野 02 教育

施 策 02 公正で質の高い学力の保障と自分のために必要な資質を磨く教育

上段：目 標

中段：実 績

下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	キャリアパスポート の活用割合	成 果	%	100 (R4)	100 100 ◎	100 100 ◎	100 100 ◎	100	100
	(子ども育成課)	〔指標設定の要素〕 キャリア教育の充実							
②									
③									
④									
⑤									
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

・児童生徒が自分の活動や成長を振り返り、目標設定や進路選択に活用されている。(子ども育成課)

・将来、社会で自立して生きる力を養うキャリア教育に生かされている。(子ども育成課)

・目標、進路へ向けたサポートとなる事業等を進めていく。(子ども育成課)

(事務事業評価対象：二次経費)

施策に関連する主な個別計画

44

基本目標 02 未来を拓く子どもたちが育つ共育のまち

行政分野 02 教育

施策 03 新たな時代に対応できる力を磨く教育

上段：目 標

中段：実 績

下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	GTECが430点以上の生徒の割合	成 果	%	53 (R4)	50 57 ◎	50 64 ◎	50 47 ◎	50	50
	(子ども育成課)	〔指標設定の要素〕 英語能力育成							
②	普通教室の電子黒板の整備率	成 果	%	100 (R4)	100 75 ○	100 75 ○	100 75 ○	100	100
	(子ども育成課)	〔指標設定の要素〕 ICT活用・対応能力育成							
③	飯山雪国大学事業子ども体験教室STEAM教育講座実施回数	活 動	回	0 (R4)	3 2 △	3 0 ×	3 0 ×	3	3
	(市民学習支援課)	〔指標設定の要素〕 ICT活用・対応能力育成							
④	全国大会への出場者数	成 果	人	46 (R4)	40 28 ○	40 38 ◎	40 54 ◎	40	40
	(スポーツ推進課)	〔指標設定の要素〕 スポーツ、文化							
⑤									
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

- ・全国大会出場者54名のうち、スキー関係が35名と全体の約6割を占めた。また、前年比ではスキー関係が8名増となり、前年から全体的な増加につながった。(スポーツ推進課)
- ・外国人英語指導助手の雇用により、英語に親しむ環境が整い、話す及び聞く力が向上した。(子ども育成課)
- ・他課でも同様の取り組みをしているため、他の講座に優先する必要はないと考えている。(市民学習支援課)

成果と課題

- ・全国大会出場者の把握は、激励金や激励品の贈呈者を中心としているが、様々な競技で全国大会が行われており、すべての把握が困難であることが課題。(スポーツ推進課)
- ・一人一台のタブレット環境継続及び活用拡充に向け、端末やソフトの更新や周辺機器の整備など財源が必要である。(子ども育成課)
- ・機材や人材確保の関係等、公民館事業として継続していくことは難しい面がある。(市民学習支援課)

今後の方針（施策の方向性）

・スキー競技が盛んな当市にとって、スキー競技の成績の善し悪しが達成状況に左右されるため、スキーを中心としたジュニア育成への支援を継続し、競技力向上を図る。(スポーツ推進課)

・一人一台のタブレット環境継続及び活用拡充に向け、端末やソフトの更新や周辺機器の整備など財源が必要である。(子ども育成課)

・他課で同様の取り組みがあることから、公民館の特色を生かし、日常や地域に身近な題材を通じて様々な体験ができる場を提供していく。(市民学習支援課)

施策に関する事務事業

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 02 未来を拓く子どもたちが育つ共育のまち

行政分野 02 教育

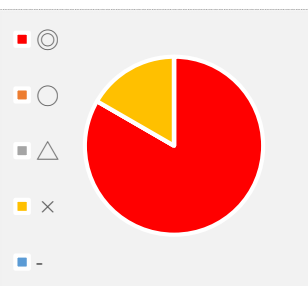
施策 04 飯山を担うためのふるさと教育

上段：目 標
中段：実 績
下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	児童・生徒のふるさと館利用者数	成 果	人	225 (R4)	700 238 ×	700 1,426 ◎	700 248 ×	700	700
	(子ども育成課)	〔指標設定の要素〕 ふるさと学習							
②	高校生チャレンジ支援事業数	活 動	団 体	4 (R4)	3 6 ◎	3 6 ◎	3 6 ◎	3	3
	(総務課)	〔指標設定の要素〕 ふるさと学習							
③	米作りの授業を行った学校数	活 動	校	9 (R4)	9 9 ◎	9 9 ◎	6 6 ◎	6	6
	(子ども育成課)	〔指標設定の要素〕 ふるさと学習							
④	スキー教室実施回数	活 動	回	16 (R4)	16 16 ◎	16 16 ◎	10 10 ◎	10	10
	(子ども育成課)	〔指標設定の要素〕 ふるさと学習							
⑤									
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況(5年間累計)		R5	R6	R7	R8	R9	計
8割以上	◎	3	4	3	0	0	10
7割以上～8割未満	○	0	0	0	0	0	0
5割以上～7割未満	△	0	0	0	0	0	0
5割未満	×	1	0	1	0	0	2
未定・不明	-	0	0	0	0	0	0



達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

- ・学校と地域が連携し、飯山らしい教育を各学校で進められている。（子ども育成課）
- ・高校生チャレンジ活動支援事業数は、高校への声掛け、担当教員との情報交換により支援事業数を達成できている。（総務課）

成果と課題

- ・広い範囲でのふるさと学習や地域交流が進み、より地域と学校の関係強化を図るとともに移動などの負担増加への配慮が必要である。（子ども育成課）
- ・事業の支援内容についても、申請を行う高校側で前年度と同じような取り組みにならないよう工夫されている。（総務課）

今後の方針（施策の方向性）

- ・飯山市を知り、ふるさとの魅力を実感するための取組みを進めていく。（子ども育成課）
- ・高校生の取り組みのPR、さらに事業や商品化に進むよう検討を進める。道の駅での試験的販売実施。（1件）（総務課）

施策に関連する事務事業

（事務事業評価対象：二次経費）

事務事業名	担当課	事業費(千円)	評価	事務事業名	担当課	事業費(千円)	評価
総合教育推進事業	子ども育成課	3,135	継続				
ふるさと学習推進事業	市民学習支援課	2,030	継続				
高校生チャレンジ支援事業	総務課	300	継続				
総合教育推進事業	子ども育成課	3,135	継続				
飯山雪国大学事業	市民学習支援課	1,824	継続				
冬期学校スポーツ振興事業	子ども育成課	3,852	継続				

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 02 未来を拓く子どもたちが育つ共育のまち

行政分野 02 教育

施策 05 共生社会が実現するための教育

上段：目 標

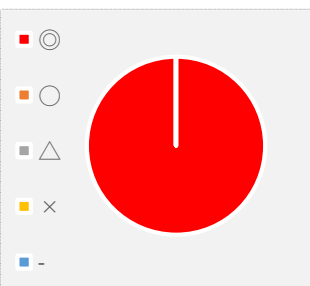
中段：実 績

下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	小学生の不登校在籍率	成 果	%	0.9 (R4)	1 2 ◎	1 3 ◎	1 3 ◎	1	1
	(子ども育成課)	〔指標設定の要素〕 共生社会実現のための教育							
②	中学生不登校在籍率	成 果	%	7.0 (R4)	7 8 ◎	7 8 ◎	7 6 ◎	7	7
	(子ども育成課)	〔指標設定の要素〕 共生社会実現のための教育							
③	小学校での施設改修校の数	活 動	校	7 (R4)	7 7 ◎	7 7 ◎	4 4 ◎	4	4
	(子ども育成課)	〔指標設定の要素〕 教育環境(ハード)整備							
④	中学校での施設改修校の数	活 動	校	2 (R4)	2 2 ◎	2 2 ◎	2 2 ◎	2	2
	(子ども育成課)	〔指標設定の要素〕 教育環境(ハード)整備							
⑤	特別支援員及び介助者の配置	活 動	人	10 (R4)	10 12 ◎	10 12 ◎	10 12 ◎	10	10
	(子ども育成課)	〔指標設定の要素〕 共生社会実現のための教育							
⑥	平和学習へ参加する生徒数	活 動	人	10 (R4)	10 10 ◎	10 10 ◎	10 10 ◎	10	10
	(子ども育成課)	〔指標設定の要素〕 共生社会実現のための教育							
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況(5年間累計)		R5	R6	R7	R8	R9	計
8割以上	◎	6	6	6	0	0	18
7割以上～8割未満	○	0	0	0	0	0	0
5割以上～7割未満	△	0	0	0	0	0	0
5割未満	×	0	0	0	0	0	0
未定・不明	-	0	0	0	0	0	0



達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

・小学校での不登校が増加傾向にあり、特に低学年から出現する傾向が見られる。中学校は不登校の改善を図れている生徒もあり、各学年とも減少している。施設改修については優先順位をつけ、年度計画をたて実施をしている。（子ども育成課）

成果と課題

・不登校児童生徒の早期発見、早期対応のため、支援員等との情報共有を図っていく。老朽化が進むなか、計画的に改修を進めているが、学校要望に対する財源の確保が追い付かず苦慮している。（子ども育成課）

今後の方針（施策の方向性）

・安全、安心な居場所づくりを進めるためにも、子どもに寄り添う支援と、施設環境づくりを進めていく必要がある。また、民間のフリースクール等を利用する児童生徒の経済的負担の支援策を講じていく。（子ども育成課）

施策に関連する事務事業

（事務事業評価対象：二次経費）

事務事業名	担当課	事業費(千円)	評価	事務事業名	担当課	事業費(千円)	評価
不登校児童生徒支援事業	子ども育成課	7,824	継続				
心の教室相談員設置事業	子ども育成課	14,335	継続				
小学校施設整備事業	子ども育成課	31,521	継続				
新たな小学校づくり事業	子ども育成課	0	完了				
中学校施設整備事業	子ども育成課	19,340	継続				
スクールバス整備事業	子ども育成課	0	完了				
特別支援教育支援員配置事業	子ども育成課	29,303	継続				
平和学習事業	子ども育成課	2,523	継続				

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 02 未来を拓く子どもたちが育つ共育のまち

行政分野 02 教育

施策 06 地域・社会に支えられ、子どもが飯山を誇りに思う生涯学習・生涯スポーツ

上段：目 標

中段：実 績

下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	コミュニティスクールの設置校数	活動	校	9 (R4)	9 9 ◎	9 9 ◎	6 6 ◎	6	6
	(子ども育成課)	〔指標設定の要素〕 地域・社会で子育て							
②	ジュニアスキー育成連絡協議会所属選手数	活動	人	207 (R4)	200 203 ◎	200 203 ◎	200 200 ◎	200	200
	(スポーツ推進課)	〔指標設定の要素〕 ジュニアスポーツ							
③	共育フェスティバル実施状況集落数(※期間累計)	活動	地区	52 (R4)	58 66 ◎	64 74 ◎	70 67 ◎	76	79
	(市民学習支援課)	〔指標設定の要素〕 青少年育成							
④									
⑤									
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

- ・飯山市スキークラブを中心としたジュニア育成や裾野を広げる継続的な活動により達成が図られた。(スポーツ推進課)
- ・全ての学校にコミュニティスクール(文科省型3校、信州型6校)が設置され、学校と地域がともに子どもたちの成長を支える環境づくりができています。(子ども育成課)
- ・子どもの数が減少しているが、集落ごとに共同で開催するなど、実施形態を工夫して開催する集落が多く、活動が継続できている。(市民学習支援課)

成果と課題

- ・様々な競技がある中での選択肢の多様化や更なる少子化に伴う競技人口の減少が懸念される。(スポーツ推進課)
- ・地域とともにある学校づくりが進められている。(子ども育成課)
- ・地域の大人の協力で活動を継続できている。実施時期や回数等の条件を緩和したため各集落への情報共有にもつとめたい。(市民学習支援課)

今後の方針（施策の方向性）

- ・飯山市が誇るスキー文化を継承するため、飯山らしい教育としてスキーの楽しさや魅力を伝えとともに、全国や世界で活躍する選手の輩出を目標に、引き続きジュニアスキーの育成に支援する。(スポーツ推進課)
- ・引き続き、地域に開かれ支えられる学校を目指し環境づくりを進めていく。(子ども育成課)
- ・「共育サステナフェスティバル」と名称を改め、育成会で開催している事業も報告ができることとなった。活動の幅を広げ、子どもたちに「地域のために頑張る」という意識を持ってもらいたい。(市民学習支援課)

施策に関連する事務事業

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 03 世界に誇れる技術を持ち、産業が活発なまち

行政分野 01 農林業

施策 01 地域資源を活かした農林業の付加価値の向上

上段：目 標
中段：実 績
下段：達成度

施策評価の指標と実績

指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
① 事業採択となった経営体数	活動	数	0 (R4)	2 1 △	2 0 ×	2 0 ×	2	2
(農業政策課)	〔指標設定の要素〕 農業の6次化支援							
② 農業産出額（飯山市調査）	成果	億 円	74.9 (R3)	79 81 ◎	79 105 ◎	79 - -	80	80
(農業政策課)	〔指標設定の要素〕 営農及び販売促進への支援							
③ 環境負荷軽減農業補助金の対象者数（※期間累計）	活動	人	33 (R4)	35 38 ◎	70 72 ◎	105 106 ◎	140	175
(農業政策課)	〔指標設定の要素〕 環境負荷軽減							
④ スマート農業推進のための支援制度	活動	単位無し	検討 (R4)	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0	1
(農業政策課)	〔指標設定の要素〕 農林業DX							
⑤								
⑥								
⑦								
⑧								
⑨								
⑩								

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

・補助事業による六次化支援は、申請至るものはなかった。環境負荷低減農業補助金については、事業の周知が進み少しづつではあるが利用者が増えている。(農業政策課)

成果と課題

・六次化支援の補助事業について、より一層の周知を図る。(農業政策課)

今後の方針（施策の方向性）

・補助事業の周知を図るとともに、農業委員・JA等との情報共有を密にし、相談者の取りこぼしのないよう努める。スマート農業の推進については、近隣市町村・NOSAI長野・県と連携して、スマート農業普及のための環境整備(RTK基地局の設置等)を推進する。(農業政策課)

施策に関する事務事業

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 03 世界に誇れる技術を持ち、産業が活発なまち

行政分野 01 農林業

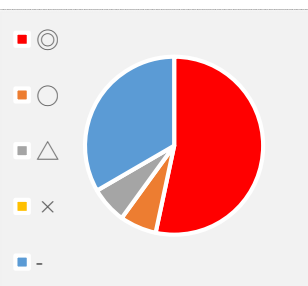
施策 02 担い手の確保や組織の育成、農地利用の集積

上段：目 標
中段：実 績
下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	新規就農者（※期間累計）	成 果	人	6（R4）	12 8 △	20 15 ○	20 18 ◎	20	20
	（農業政策課）	〔指標設定の要素〕 新規就農者確保							
②	農業産出額（飯山市調査）	成 果	億 円	74.9（R3）	79 81 -	79 105 ◎	79 - -	80	80
	（農業政策課）	〔指標設定の要素〕 経営体の存続、担い手育成							
③	てんだい倶楽部のてんだい衆（農業を手伝った人）の数（※期間累計）	活 動	数	16（R4）	15 16 ◎	30 32 ◎	45 49 ◎	60	75
	（農業政策課）	〔指標設定の要素〕 経営体の存続、担い手育成							
④	農村RMO、特定地域づくり事業協同組合など新たな制度導入	活 動	単 位 無 し	—（R4）	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0	1
	（商工観光課）	〔指標設定の要素〕 多様な働き方							
⑤	遊休荒廃農地解消取組面積	成 果	ア ハ ル	186（R4）	50 173 ◎	50 579 ◎	100 833 ◎	100	100
	（農業政策課）	〔指標設定の要素〕 農地の利用集積							
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況(5年間累計)		R5	R6	R7	R8	R9	計
8割以上	◎	2	3	3	0	0	8
7割以上～8割未満	○	0	1	0	0	0	1
5割以上～7割未満	△	1	0	0	0	0	1
5割未満	×	0	0	0	0	0	0
未定・不明	-	2	1	2	0	0	5



達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

・地域人口の急減に直面している現状を踏まえ、地域産業の担い手不足の解消や地域社会の維持・地域経済の活性化を図るため、特定地域づくり事業協同組合制度を活用した次年度の組合設立に向けて、組合員向けの説明会を開催した。（商工観光課）
 ・新規就農者は年によりばらつきがある。遊休荒廃農地解消取組面積は制度の周知が進んだことと、農業委員の協力により目標を上回ることができた。（農業政策課）

成果と課題

・関係機関との連携により、組合員向けの説明会を開催した。すでに取り組みを行っている組合では、マルチワーカー（派遣職員）の確保に苦慮しているとのことから、マルチワーカーの確保に課題がある。（商工観光課）
 ・引続き補助制度の周知を進めるとともに、農業委員と連携して新規就農者の発掘、荒廃農地解消に取り組んでいく。（農業政策課）

今後の方針（施策の方向性）

・組合員の決定、必要となる事務手続きの洗い出し、補助要綱の作成など、組合設立に向けた事務を進める。（商工観光課）
 ・農業を取り巻く課題は多種に渡るため、JA、県・国など関係機関とより連携し、課題解決を図り、担い手の育成を進めていく。（農業政策課）

施策に関連する事務事業

（事務事業評価対象：二次経費）

事務事業名	担当課	事業費(千円)	評価	事務事業名	担当課	事業費(千円)	評価
農業振興対策事業	農業政策課	27,163	継続				
新規就農総合支援事業	農業政策課	37,713	継続				
経営所得安定対策等推進事業	農業政策課	5,011	継続				
経営体育成支援事業	農業政策課	0	継続				
地区農業再生推進事業	農業政策課	800	継続				
農地利用集積円滑化事業	農業政策課	891	継続				
国営開発農地振興対策事業	農業政策課	1,000	継続				
遊休荒廃農地対策事業	農業政策課	2,040	拡充				

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 03 世界に誇れる技術を持ち、産業が活発なまち

行政分野 01 農林業

施策 03 農林業施設、生産基盤等の整備、農村振興

上段：目 標

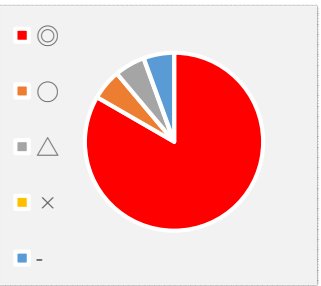
中段：実 績

下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	認定農業者数	成 果	人	79 (R4)	100 81 ◎	100 71 ○	100 69 △	100	100
	(農業政策課)	〔指標設定の要素〕 家族農業及び中山間地の農業の維持							
②	農業産出額（飯山市調査）	成 果	億 円	74.9 (R3)	79 81 ◎	79 105 ◎	79 - -	80	80
	(農業政策課)	〔指標設定の要素〕 家族農業及び中山間地の農業の維持							
③	湛水被害発生数	成 果	数	0 (R4)	0 0 ◎	0 0 ◎	0 0 ◎	0	0
	(森林農地整備課)	〔指標設定の要素〕 団体等育成							
④	森林面積	成 果	h a	12,106 (R2)	12,106 12,113 ◎	12,106 12,113 ◎	12,106 12,113 ◎	12,106	12,106
	(森林農地整備課)	〔指標設定の要素〕 団体等育成							
⑤	有害鳥獣駆除件数	成 果	件	253 (R4)	300 261 ◎	300 311 ◎	300 389 ◎	300	300
	(森林農地整備課)	〔指標設定の要素〕 団体等育成							
⑥	てんだい倶楽部のてんだい衆（農業を手伝った人）の数（※期間累計）	活 動	数	16 (R4)	15 16 ◎	30 32 ◎	45 49 ◎	60	75
	(農業政策課)	〔指標設定の要素〕 農業経営安定							
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況(5年間累計)		R5	R6	R7	R8	R9	計
8割以上	◎	6	5	4	0	0	15
7割以上～8割未満	○	0	1	0	0	0	1
5割以上～7割未満	△	0	0	1	0	0	1
5割未満	×	0	0	0	0	0	0
未定・不明	-	0	0	1	0	0	1



達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

・湛水被害発生件数は、施設整備計画が進んでいることから被害を未然に防げた。森林面積の目標値については、達成している。有害駆除件数は、猟友会及び個人による小型鳥獣捕獲用わな設置許可者が増えていることから、捕獲件数が増えている。（森林農地整備課）
 ・認定農業者数は、農業者の高齢化により継続を断念する農家が多く目標を下回った。（農業政策課）

成果と課題

・湛水被害発生件数は、排水機場等の改修工事早期に完成させ、運転管理者の負担軽減を図りたい。森林面積は、森林面積が増えることで、森林の持つ多面的機能が損なわれないよう整備していく必要がある。有害駆除件数は、小型鳥獣捕獲用わな設置許可者が増え、農作物等の被害防止に繋がった。（森林農地整備課）
 ・認定農業者になることによるメリットを説明し、新規認定者の増加を図りたい。（農業政策課）

今後の方針（施策の方向性）

・湛水被害件数は、国県及び地域と連携し農地保全と市民生活の安全を図るため、改修工事を進める。林業の活性化も含め、森林整備事業の推進を図る。有害鳥獣捕獲件数は、猟友会への委託、また小型鳥獣捕獲用わな講習会回数を増やしたい。（森林農地整備課）
 ・大規模農家の経営維持・規模拡大を国・県の制度も活用して支援するとともに、家族農業を守るための取組みを進め、農業従事者の維持・増加を目指す。中山間地域等直接支払事業や多面的機能支払事業の活用による地域の農家による農地・農業施設の維持管理を引き続き支援する。（農業政策課）

施策に関連する事務事業

（事務事業評価対象：二次経費）

事務事業名	担当課	事業費(千円)	評価	事務事業名	担当課	事業費(千円)	評価
農業資金融資利子補給事業	農業政策課		完了	農村多面的機能支払交付金事業	農業政策課	78,084	継続
農業振興対策事業	農業政策課	27,163	継続	鳥獣対策事業	森林農地整備課	13,758	拡充
新規就農総合支援事業	農業政策課	37,713	継続	県施行農地整備事業	森林農地整備課	5,405	継続
国営開発農地振興対策事業	農業政策課	1,000	継続	市単土地改良事業	森林農地整備課	25,000	継続
遊休荒廃農地対策事業	農業政策課	2,040	拡充	中部土地改良区補助事業	森林農地整備課	6,770	継続
地区農業再生推進事業	農業政策課	800	継続				
中山間地域等直接支払い事業	農業政策課	83,639	継続				
環境保全型農業直接支払交付金事業	農業政策課	700	継続				
土地改良施設維持管理適正化事業	森林農地整備課	900	継続				
湛水防除施設管理事業	森林農地整備課	12,305	継続				
木島地区湛水防除施設改修事業	森林農地整備課	40,960	継続				
森林整備事業	森林農地整備課	39,685	継続				

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 03 世界に誇れる技術を持ち、産業が活発なまち

行政分野 02 商工業

施策 01 商業空間・商業基盤の充実

上段：目標

中段：実績

下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	起業支援件数（※期間累計）	成果	件	31（H30～R4累計）	6 7 ◎	12 9 ○	18 13 ○	24	30
	（商工観光課）	〔指標設定の要素〕 事業支援							
②	店舗改修事業補助金の補助件数	活動	件	2（R4）	1 3 ◎	1 1 ◎	1 1 ◎	1	1
	（商工観光課）	〔指標設定の要素〕 駅前の賑わい創出							
③	雇用の増加	成果	人	1,555（R2）	1,570 1,297 ◎	1,585 1,297 ◎	1,600 1,256 ○	1,615	1,630
	（商工観光課）	〔指標設定の要素〕 企業振興に関する条例制定							
④									
⑤									
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

・起業や店舗改修への支援により、企業数及び雇用の維持に一定の効果はあった。(商工観光課)

・雇用の増加に直接つながる企業誘致については、全国の自治体が同じ取り組みをしているため、他自治体との差別化が課題。(商工観光課)

・継続的な起業支援、企業誘致活動の実施に加え、新たな分野への企業誘致活動を研究する。(商工観光課)

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 03 世界に誇れる技術を持ち、産業が活発なまち

行政分野 02 商工業

施策 02 工業基盤の充実と活用

上段：目 標

中段：実 績

下段：達成度

施策評価の指標と実績

指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
① 企業の誘致数	活 動	社	0 (R4)	1 0 ×	1 0 ×	1 1 ◎	1	1
(商工観光課)	〔指標設定の要素〕 企業誘致							
② 訪問企業数	活 動	社	122 (R4)	20 23 ◎	30 35 ◎	30 28 ◎	30	30
(商工観光課)	〔指標設定の要素〕 企業誘致							
③ 工業団地を中心とした 企業誘致（流出抑制も 含む）数	成 果	社	0 (R4)	1 1 ◎	1 0 ×	1 0 ×	1	1
(商工観光課)	〔指標設定の要素〕 経営安定支援							
④								
⑤								
⑥								
⑦								
⑧								
⑨								
⑩								

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

・令和5年5月より東京を拠点として活動していた企業誘致推進員がいなくなったため担当係直営での企業誘致活動を行うこととなり、令和6年度に引き続き、企業誘致推進員の築いたコネクションや様々な情報を基に大手ゼネコンを始め都内・関西圏及び県内企業への誘致活動を実施した。

・興味を示す企業や問い合わせをしてきた企業があり、飯山市に本社を移転する企業があった。(商工観光課)

成果と課題

・農産地により造成された工業団地は、業種や雇用創出の面での制約があり、雇用を必要とせず立地ニーズの高いデータセンターや蓄電所等の立地ができない。また、製造業等においてはBCPの観点からハザードマップがかかっている工業団地への立地は厳しいという状況にある。さらにハザードマップや企業ニーズと市内工業団地のニーズもマッチしていないことから工業団地への企業誘致は困難な状況下にある。(商工観光課)

今後の方針（施策の方向性）

- ・工業団地未分譲地を中心とした市外事業者への企業訪問、国内外を問わない情報収集等の活動の継続。
- ・関係課と連携した廃校を活用した企業誘致活動の研究。
- ・企業への支援内容の見直し検討。
- ・農産法の業種の見直しに関する長野県への相談。(商工観光課)

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 03 世界に誇れる技術を持ち、産業が活発なまち

行政分野 02 商工業

施策 03 多様な働き方の推進

上段：目 標
中段：実 績
下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	サテライトオフィス数	活動	数	1 (R4)	1 1 ◎	1 1 ◎	1 1 ◎	1	1
	(商工観光課)	〔指標設定の要素〕 多様な働き方推進							
②	合同企業展示説明会の開催数（※期間累計）	活動	回	0 (R4)	1 0 ×	2 1 △	4 2 △	6	8
	(商工観光課)	〔指標設定の要素〕 雇用・就業情報の提供及び相談							
③	飯水岳北勤労者共済会新規加入者数（※期間累計）	成果	人	439 (R4)	20 75 ◎	30 115 ◎	40 139 ◎	50	60
	(商工観光課)	〔指標設定の要素〕 地域定着							
④									
⑤									
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

- ①飯山市起業支援センター内に1社がサテライトオフィスを継続して設置している。
- ②主な対象を高校生やその保護者とし、飯山市内の企業を知ってもらう合同説明会を1回開催した。
- ③各市村での広報活動等により、毎年一定数の新規入会者を得ている。(商工観光課)

成果と課題

- ①サテライトオフィス誘致に向けた企業誘致活動を実施しているが、興味を示す企業はほとんどない状況。観光地・飲食店隣接や景観等、企業が求めるメリットがない状況のため、メリットを創っていく必要がある。
- ②飯山高校、下高井農林高校、中野西高校、中野立志館高校にチラシを配布したが、参加者はほぼ農林高校の生徒で、中野市の2校からの参加者はなかった。そもそも下高井農林高校以外の高校は就職希望者が少ない。
- ③新規入会者は一定数ある一方で入会者の高齢化、退会者(退職等起因)も毎年一定数おり、相対的には会員数は減少傾向にある。(商工観光課)

今後の方針（施策の方向性）

- ①県外企業へのサテライトオフィス設置に向けた誘致活動の実施、他自治体の施設等の研究。サテライトオフィス誘致を得意とする企業との情報交換。
- ②進学希望の生徒にも、進学先を卒業した後の就職先として市内企業を知ってもらうために参加を促していく。
- ③広報活動を中心とした新規入会者・新規入会事業所の発掘により会員増を目指す。(商工観光課)

施策に関する事務事業

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 03 世界に誇れる技術を持ち、産業が活発なまち

行政分野 03 伝統産業

施策 01 伝統産業の振興と技術を活かしたイノベーションの推進

 上段：目 標
 中段：実 績
 下段：達成度

施策評価の指標と実績

指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
① 伝統産業技術を活かした商品開発や仕組み（※期間累計） （商工観光課）	成 果	件	0（R4）	1 1 ◎	2 2 ◎	3 2 △	4	5
〔指標設定の要素〕 イノベーション・ブランド化								
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
⑦								
⑧								
⑨								
⑩								

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

・小沼ほうき振興会の会員により様々なアイデアが出され、個々で製作に取り組まれている。(商工観光課)

成果と課題

・長野県伝統工芸品展と同時開催された「新作展」が令和7年度から開催されないこととなった。今後は新製品開発に取り組む環境整備、発信方法についての検討が必要。(商工観光課)

今後の方針（施策の方向性）

今後、伝統産業に関する補助を行うことで、伝統産業の振興や技術の承継に寄与していく方針。(商工観光課)

施策に関する事務事業

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 03 世界に誇れる技術を持ち、産業が活発なまち

行政分野 03 伝統産業

施 策 02 伝統産業の担い手の確保・育成

上段：目 標
中段：実 績
下段：達成度

施策評価の指標と実績

指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
① 後継者育成のための 新規補助金の対象件 数 (工商観光課)	活 動	件	4 (R4)	3 4 ◎	3 2 △	3 1 ×	3	3
〔指標設定の要素〕 人材育成・確保								
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
⑦								
⑧								
⑨								
⑩								

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

・建設業(大工業)1件の申請であり、新規の申請はなかった。(商工観光課)

成果と課題

・近年申請があるのは建設業であり、伝統産業に係る製造業の後継者育成が課題である。(商工観光課)

今後の方針（施策の方向性）

・建設業については引き続き補助の対象とし、伝統産業に係る製造業については制度の利用を引き続き促していく。(商工観光課)

施策に関する事務事業

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 04 一人ひとりが生きがいをもって挑戦できるまち

行政分野 01 市民協働・ダイバーシティ

施策 01 誰もが活躍できる場づくり

上段：目 標
中段：実 績
下段：達成度

施策評価の指標と実績

指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
① 里山の未来づくり支援金交付件数	活動	団体	5 (R4)	0	5	5	5	5
				0	6	9		
				-	◎	◎		
(事業戦略課)	〔指標設定の要素〕 市民協働によるまちづくり							
② 農村RMO、特定地域づくり事業協同組合など新たな制度導入	活用	単位無し	— (R4)	0	0	0	0	1
				0	0	0		
				-	-	-		
(商工観光課)	〔指標設定の要素〕 新たな組織づくり							
③								
④								
⑤								
⑥								
⑦								
⑧								
⑨								
⑩								

A pie chart with a red slice and a blue slice. To the left of the chart is a legend with six items, each consisting of a small colored square followed by a symbol:

- Red square followed by a bullseye symbol (a circle with a dot in the center).
- Orange square followed by an empty circle.
- Gray square followed by an empty triangle.
- Yellow square followed by an 'x' symbol.
- Blue square followed by a dash symbol (-).

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

要望があり要件に見合った地域や団体が主体的に行う地域づくりを支援した。(事業戦略課)
・地域人口の急減に直面している現状を踏まえ、地域産業の担い手不足の解消や地域社会の維持・地域経済の活性化を図るため、特定地域づくり事業協同組合制度を活用した次年度の組合設立に向けて、組合員向けの説明会を開催した。(商工観光課)

成果と課題

- ・地域や団体が事業を検討できるよう、事前に説明を実施するなど周知を図ったほか、申請手続きの方法や事業の進め方など相談に応じ円滑な事業実施を支援した。なお、事業効果検証などのフォローアップを行っていく必要がある。(事業戦略課)
- ・関係機関との連携により、組合員向けの説明会を開催した。すでに取り組みを行っている組合では、マルチワーカー(派遣職員)の確保に苦慮していることから、マルチワーカーの確保に課題がある。(商工観光課)

今後の方針（施策の方向性）

・地域や団体の取り組み事例を広報し、事業のPRを行うことで活用実績を増やし、持続可能な集落づくりを推進する。(事業戦略課)

・組合員の決定、必要となる事務手続きの洗い出し、補助要綱の作成など、組合設立に向けた事務を進める。(商工観光課)

施策に関する事務事業

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 04 一人ひとりが生きがいをもって挑戦できるまち

行政分野 01 市民協働・ダイバーシティ

施策 02 多様性を認め合う地域づくり

上段：目 標

中段：実 績

下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	人権学習会等開催数	活動	回	10 (R3)	40	40	40	40	40
					20	21	20		
					△	△	△		
	(人権政策課)	〔指標設定の要素〕 ダイバーシティ&インクルージョン							
②	審議会等委員の女性 参画率	成果	%	23.7 (R3)	35	35	40	40	40
					30	37	40.5		
					◎	◎	◎		
	(人権政策課)	〔指標設定の要素〕 男女共同参画							
③									
④									
⑤									
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

・人権学習会開催回数については、各地区、各集落での開催が微減し、目標は達成できていない。審議会等委員の女性の参画率については、各審議会の改選時等に女性委員の登用について積極的に取り組んでいただき、全体での目標達成に至った。(人権政策課)

成果と課題

・人権学習会等開催については微減した状況にあり、開催集落に偏りがある。審議会等委員の女性の参画率は令和5(2023)年度より増加傾向にあり、令和6(2024)年度より全体での目標達成はできたが、個々においては女性が一人もいない審議会等もある。(人権政策課)

今後の方針（施策の方向性）

・人権学習会等の開催について、人権同和男女共同参画地域推進員会議、及び区長会、公民館長会等で開催について依頼する。審議会等委員の女性参画率については、女性が一人もない審議会等に啓発や女性の参画について依頼する。(人権政策課)

施策に関する事務事業

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
第5次飯山市男女共同参画計画	令和7年度～令和11年度	人権政策課
	～	
	～	

基本目標 04 一人ひとりが生きがいをもって挑戦できるまち

行政分野 01 市民協働・ダイバーシティ

施 策 03 人権意識の啓発活動の推進

上段：目 標

中段：実 績

下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	審議会等委員の女性 参画率	成 果	%	23.7 (R3)	35 30 ◎	35 37 ◎	40 40.5 ◎	40	40
	(人権政策課)	〔指標設定の要素〕 人権意識の醸成							
②									
③									
④									
⑤									
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

・審議会等委員の女性の参画率については、各審議会の改選時等に女性委員の登用について積極的に取り組んでいただき、全体での目標達成に至った。(人権政策課)

成果と課題

・審議会等委員の女性の参画率は令和5(2023)年度より増加傾向にあり、令和6(2024)年度より全体での目標達成はできたが、個々においては女性が一人もいない審議会等もある。(人権政策課)

今後の方針（施策の方向性）

・審議会等委員の女性参画率については、女性が一人もいない審議会等に啓発や女性の参画について依頼する。(人権政策課)

施策に関する事務事業

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 04 一人ひとりが生きがいをもって挑戦できるまち

行政分野 02 生涯学習

施策 01 学びと生きがいつくり

上段：目 標

中段：実 績

下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	スキルアップ、講座等の実施	活 動	講 座	20 (R4)	21 21 ◎	21 23 ◎	22 22 ◎	22	23
	(市民学習支援課)	〔指標設定の要素〕 講座・講演会開催(団体支援)、リカレント教育							
②	公民館利用者数	成 果	人	15,649 (R4)	19,300 22,561 ◎	22,400 20,768 ◎	25,500 26,641 ◎	28,600	31,800
	(市民学習支援課)	〔指標設定の要素〕 講座・講演会開催(団体支援)、リカレント教育							
③	飯山市公式SNSの登録者数 (facebook、X、Instagram、LINE、youtubeのフォロワー、友達・チャンネル登録数)	成 果	数	9,241 (R4)	9,600 12,998 ◎	13,100 14,528 ◎	15,000 16,262 ◎	15,000	15,000
	(事業戦略課)	〔指標設定の要素〕 広報							
④	社会教育の取組を行った地区数	活 動	地 区	10 (R4)	10 10 ◎	10 10 ◎	10 10 ◎	10	10
	(市民学習支援課)	〔指標設定の要素〕 団体支援							
⑤									
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

・市民が講師となり、各々の得意分野を活かした企画持ち込み型の講座を開催し、多様な学びを展開した。公民館利用団体と連携した講座等、学びの継続が可能な講座を開催し、団体への加入者増や新団体の設立等に繋がった。(市民学習支援課)

・③飯山市公式SNSの登録者数

SNSでの情報発信全体に関しては年々伸びており、昨年比で12%増となっており需要が高まっている。YouTubeが34%増、LINEは23%増、Instagramは18%増となっている。(事業戦略課)

成果と課題

市民が企画を持ち込む講座の実施により、多分野での講座開催が可能になった。市民による企画だけでなく、公民館側でもニーズに沿った講座を企画していく必要がある。(市民学習支援課)

・広報紙をベースとし、周知できた。多くの方に知っていただけるよう、幅広い世代に、タイムリーに周知する必要がある。(事業戦略課)

今後の方針（施策の方向性）

講座の実施時期を限定せず、通年で開催していく方針。学びの成果を活かせる機会も設け、継続的な学びに努めたい。(市民学習支援課)

・広報紙ベースに付け加え、担当課でSNSに投稿したものを、他アカウントでシェアするなど、幅広い世代に対し、タイムリーに情報が発信できるように今後体制を整えたい。(事業戦略課)

施策に関連する事務事業

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 04 一人ひとりが生きがいをもって挑戦できるまち

行政分野 02 生涯学習

施策 02 魅力ある図書館づくり

上段：目標

中段：実績

下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	図書貸出数（※1人当たりの冊数）	成果	冊	4（R4）	5 4 ◎	5 4 ◎	5 4 ◎	5	5
	（市民学習支援課）	〔指標設定の要素〕 図書館の利用促進							
②	ゆきつばき号利用者数	成果	人	1,525（R4）	1,500 1,304 ◎	1,500 1,362 ◎	1,500 1,180 ○	1,500	1,500
	（市民学習支援課）	〔指標設定の要素〕 移動図書館							
③									
④									
⑤									
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

A pie chart is displayed on a light gray background. The chart is divided into two segments: a large red segment representing approximately 75% of the total, and a smaller orange segment representing approximately 25%. To the left of the chart is a legend consisting of six items, each with a colored square and a symbol:

- Red square with a bullseye symbol (⊙)
- Orange square with an empty circle symbol (○)
- Gray square with an empty triangle symbol (△)
- Yellow square with an 'x' symbol (×)
- Blue square with a dash symbol (-)

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

絵本で育てるまちづくり事業で行った「おでかけとしょかん」や、「えほんコミュニケーター養成講座」などを通じ、本への市民の関心を高めることができた(市民学習支援課)

成果と課題

・本館及び移動図書館車利用者については、少子化や高齢化の影響もあり減少傾向ではあるが、イベントや講座などを実施したことにより、利用者数の確保に努めている。(市民学習支援課)

今後の方針（施策の方向性）

・市民のニーズに応じた蔵書の所蔵のほか、より多くの市民に本に関心をもってもらうため、えほんコミュニケーターの協力を得ながらイベントを実施するほか、Instagram等を活用し図書に関する広報を広く行いたい(市民学習支援課)

施策に関連する事務事業

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 04 一人ひとりが生きがいをもって挑戦できるまち

行政分野 03 文化

施策 01 歴史・文化の保存、伝承と活用

上段：目 標

中段：実 績

下段：達成度

施策評価の指標と実績

指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
① 指定文化財の維持・修復件数	活動	件	3 (R4)	3 4 ◎	3 5 ◎	3 6 ◎	3	3
(市民学習支援課)	〔指標設定の要素〕文化財等の保存支援							
② ふるさと館での企画展の開催数 (※期間累計)	活動	回	5 (R4)	9 9 ◎	9 9 ◎	9 5 △	9	9
(市民学習支援課)	〔指標設定の要素〕文化財等の保存と企画展等の開催							
③								
④								
⑤								
⑥								
⑦								
⑧								
⑨								
⑩								

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

・文化財の維持修復件数は、修復0、維持6(神戸のイチヨウ、小菅の柱松行事、正受庵及び小菅神社冬囲い、重要文化的景観)
・ふるさと館企画展は、ほぼ1シーズンに1回のテーマで年間を通じて5回開催している。R7年度はミニ企画展を計画しなかった。計画した企画展は予定どおり5回実施できた。(市民学習支援課)

成果と課題

- ・指定文化財維持・修復件数について、修復を必要とする文化財の把握に努めることが課題である。
- ・ふるさと館企画展は、ほぼ1シーズンに1回のテーマで年間を通じて企画展を開催できた。(市民学習支援課)

今後の方針（施策の方向性）

・文化財の保存、活用に向けて、今ある文化財の維持管理を行いながら、企画展や学習会などを通して文化財を活用した地域づくりを行っていく。(市民学習支援課)

施策に関する事務事業

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 04 一人ひとりが生きがいをもって挑戦できるまち

行政分野 03 文化

施策 02 芸術文化活動の推進

上段：目 標

中段：実 績

下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	美術館の企画展を含む入館者数	成果	人	4,933 (R4)	5,000 5,883 ◎	5,200 4,777 ◎	5,400 5,404 ◎	5,600	5,800
	(文化交流課)	〔指標設定の要素〕 芸術文化の発信							
②	飯山市民芸術祭参加者数及び来場者数	成果	人	885 (H30)	410 928 ◎	530 1,005 ◎	1000 1,341 ◎	1100	1200
	(文化交流課)	〔指標設定の要素〕 芸術文化活動環境づくり							
③	文化交流館施設の利用人数	成果	人	44,092 (R4)	52500 79,083 ◎	55000 78,764 ◎	57,500 50,535 ◎	60,000	62,500
	(文化交流課)	〔指標設定の要素〕 施設利用促進							
④	ふるさと館入館者数	成果	人	7,747 (R4)	7,800 8,100 ◎	8,000 6,261 ○	8,200 6,525 ○	8,300	8,400
	(市民学習支援課)	〔指標設定の要素〕 施設利用促進							
⑤									
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

・ふるさと館の有料入館者数は毎年増加傾向にある。小中学校の授業による来館者数は市内外とも増加した。(市民学習支援課)

・各種イベントが安定的に開催された。雪まつりのメイン会場で無くなったためその分の入場者数を減としたが、それを除けば例年と同程度の集客となった。(文化交流課文化振興係)

・二つの企画展を開催したが、「想い出の学校展」は親しみやすかったこと、もう一方の「冬耳展」は洗練された現代美術作品であったことで、どちらにも一定程度の関心を持ってもらうことができた。(文化交流課美術館係)

成果と課題

・企画展及び関連イベントを開催し概ね昨年度並の来館者数だった。ふるさと学習講座を行い、各講座は概ね定員に達した。冬に112名の外国人旅行客の来館があった。若年層の来館が少ないので工夫したPRが必要である。(市民学習支援課)

・幅広い世代が楽しめる事業等を実施し、芸術文化振興を図っていく必要がある。(文化交流課文化振興係)

・市バスを活用した企画展鑑賞の取り組みでは、現代美術作品を紹介した企画展に市内の中高生555人が来館。子どもたちが第一線で活躍している画家と交流することができた。各学校と連携を密に進める必要がある。(文化交流課美術館係)

今後の方針（施策の方向性）

・ふるさと学習の場として市内外の小中学校へのPR、また若年層へ飯山市の良さを伝える場としてPRを行いたい。駅に近い立地を生かして、外国人旅行客へ日本文化を紹介する施設として広報活動も行っていきたい。(市民学習支援課)

・未来を担う小中学生を対象とした芸術文化に触れる事業の開催、市民参加型のワークショップなどの開催などの自主事業の開催を計画する。(文化交流課文化振興係)

・様々な美術作品に触れる機会を、という趣旨から、企画展で取り上げる作家や作品は、飯山市にゆかりがあるか否かにこだわらず検討していく。また、作家と来館者が交流できる企画を計画していく。(文化交流課美術館係)

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 04 一人ひとりが生きがいをもって挑戦できるまち

行政分野 04 スポーツ

施策 01 スポーツ活動の推進

上段：目 標
中段：実 績
下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	各種スポーツ教室やイベントの開催	活動	回	145 (R元)	145 141 ◎	145 130 ◎	146 127 ◎	146	147
	(スポーツ推進課)	〔指標設定の要素〕 生涯スポーツ活動							
②	スキークラブ加入者数	成果	人	143 (R4)	145 148 ◎	145 150 ◎	150 145 ◎	150	150
	(国民スポーツ大会推進課)	〔指標設定の要素〕 国民スポーツ大会への対応等							
③	カヌークラブ加入者数	成果	人	20 (R4)	25 25 ◎	25 31 ◎	30 36 ◎	30	30
	(国民スポーツ大会準備課)	〔指標設定の要素〕 国民スポーツ大会への対応等							
④	各種大会への参加	活動	回	2 (R4)	2 2 ◎	2 2 ◎	2 2 ◎	2	2
	(スポーツ推進課)	〔指標設定の要素〕 人材の確保・育成							
⑤									
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

・雪解けが早く、春先に実施する冬季の大会は中止となってしまったこと等により開催回数は若干減少したが、市スポーツ協会を中心とした競技団体が自主運営による大会開催を継続することで、概ね回数の維持につながった。各種大会として参加している市町村対抗駅伝及び小学生駅伝については、参加者を確保することができ、継続して参加することができた。(スポーツ推進課)

・第82回国民スポーツ大会(信州やまなみ国スポ)スキー競技及びカヌー競技における地元選手出場の向けた機運醸成が高まってきている。(国民スポーツ大会推進課)

成果と課題

・大会を開催し、競技に携わる人材を確保することで、継続したスポーツ活動を図ることができた。
市町村対抗駅伝及び小学生駅伝に参加するための選考会や全体練習を行うことで、ランナーの育成を図ることができた。(スポーツ推進課)

・スキークラブ及びカヌークラブへの支援を行い、スキークラブの加入者数は微減にとどめ、カヌークラブの加入者数は増加することができた。(国民スポーツ大会推進課)

今後の方針（施策の方向性）

・市スポーツ協会やスポーツ少年団を中心に、引き続き、スポーツ活動に対する支援を行う。(スポーツ推進課)
・第82回国民スポーツ大会(信州やまなみ国スポ)スキー競技及びカーン競技における地元選手出場に向けて支援を継続する。(国民スポーツ大会推進課)

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 04 一人ひとりが生きがいをもって挑戦できるまち

行政分野 04 スポーツ

施策 02 スポーツ施設の魅力化

上段：目 標
中段：実 績
下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	社会体育施設の利用者数	成 果	人	56,089 (R4)	59,000 73,486 ◎	62,000 70,389 ◎	65,000 73,860 ◎	68,000	70,000
	(スポーツ推進課)	〔指標設定の要素〕 安全確保・スポーツの普及							
②	スキークラブ加入者数	成 果	人	143 (R4)	145 141 ◎	145 130 ◎	146 127 ◎	146	147
	(国民スポーツ大会推進課)	〔指標設定の要素〕 国民スポーツ大会への対応等							
③	カヌークラブ加入者数	成 果	人	20 (R4)	25 25 ◎	25 31 ◎	30 36 ◎	30	30
	(国民スポーツ大会準備課)	〔指標設定の要素〕 国民スポーツ大会への対応等							
④									
⑤									
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

・市内競技団体の日常練習や例年開催している各種大会の会場等で利用いただくことで、目標を達成できた。(スポーツ推進課)

・第82回国民スポーツ大会(信州やまなみ国スポ)スキー競技及びカヌー競技における地元選手出場に向けた機運醸成が高まって来ている。(国民スポーツ大会推進課)

成果と課題

・建設から年数が経過した施設が多く、修繕が必要な施設が増えており、今後、整備費の増加が見込まれる。(スポーツ推進課)

・スキークラブ及びカヌークラブの加入者数が増加することで、施設利用者の増加が図れた。(国民スポーツ大会推進課)

今後の方針（施策の方向性）

- ・利用者が安全に利用できるよう、長寿命化を含めた計画的な整備を行う。(スポーツ推進課)
- ・引き続き、スキークラブ及びカヌークラブへの加入者増に向けた支援を行う。(国民スポーツ大会推進課)

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 05 安全で安心して暮らしを愉しめるまち

行政分野 01 公共交通

施策 01 効率的な公共交通システムの構築

 上段：目 標
 中段：実 績
 下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	JR飯山駅の1日平均乗車人数	成果	人	719 (R3)	813 981 ◎	860 1,095 ◎	907 - -	954	1000
	(企画財政課)	〔指標設定の要素〕 利用促進(鉄道、バス)							
②	乗り合いタクシーの新たな移送方法の試験実施数(※期間累計)	活動	エリア	0 (R4)	0 0 -	0 0 -	1 1 ◎	1	1
	(企画財政課)	〔指標設定の要素〕 新たな公共交通システムの検討							
③									
④									
⑤									
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

・飯山駅1日平均乗車人数については例年10月公表のため未記入。
・インバウンド需要の増加により、特に冬期を中心として飯山駅利用者が増加した。また夏期についても、飯山線サイクルトレインの実施により、利用者の増加につながった。
・乗り合いタクシーの新たな移動手段の試行のため、国土交通省の「日本版MaaS推進・支援事業」を活用し、「いいやま相乗りタクシー」実証実験を行った。（企画財政課）

・飯山線沿線地域活性化協議会、信越9市町村広域観光連携会議等市内外の関係者との連携のもと飯山線や北陸新幹線の利活用のための施策を展開した。

・「いいやま相乗りタクシー」実証実験においては、高齢者等の利便性が向上した一方で、需要が集中する冬期における予約不成立の解消が主な課題として抽出された。交通事業者の理解と協力を得ながら、供給力の確保やサービス内容の改善を進め、利用者・事業者の双方にとって持続可能で有益な仕組みを構築していく必要がある。(企画財政課)

・JR飯山線の利用促進に向けてJRや長野県、沿線自治体と連携した事業展開を継続する。
・実証実験で明らかとなった予約不成立等の課題に対応するため、公共ライドシェア制度等を活用し、高齢者等の移動手段の確保と冬期インバウンド等に対応する観光二次交通の強化を図る。(企画財政課)

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
飯山市地域公共交通計画	2022 年度 ～ 2026 年度	企画財政課
	～	
	～	

基本目標 05 安全で安心して暮らしを愉しめるまち

行政分野 01 公共交通

施策 02 北陸新幹線飯山駅を中心とした二次交通網の充実

 上段：目 標
 中段：実 績
 下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	飯山駅発各地へのバス1日平均乗客数	成	人	62 (R4)	65	65	65	65	65
	(商工観光課)	果			76	79	100		
					◎	◎	◎		
	〔指標設定の要素〕 二次交通網								
②									
③									
④									
⑤									
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

コロナ禍を終え観光客数がコロナ以前の水準まで戻ったため。
また、オーストラリア、アジア圏からの斑尾・野沢方面への冬季インバウンドが増加傾向であり、冬季客数の増加が平均値を上げたため。(商工観光課)

成果と課題

夏季と冬季それぞれの需要に合わせた二次交通のダイヤ編成と運行ができたため。
課題とすると、現状は乗車券の支払いが現金のみのため、昨今の情勢を鑑みキャッシュレス化が望まれる。※
R8導入予定(商工観光課)

今後の方針（施策の方向性）

バス乗車券券売機の更新によりキャッシュレス化を図る。※R8導入予定(商工観光課)

施策に関する事務事業

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 05 安全で安心して暮らしを愉しめるまち

行政分野 02 健康

施策 01 特定健康診査等による疾病予防、介護予防

上段：目 標

中段：実 績

下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	特定健診の受診率	成	%	46.1 (R3)	51	56	61	65	70
		果			45	48	-		
					◎	◎	-		
	(市民環境課)	〔指標設定の要素〕 疾病予防							
②	ハイリスクアプローチの人数	活	人	55 (R4)	50	50	50	50	50
		動			40	49	43		
					◎	◎	◎		
	(保健福祉課)	〔指標設定の要素〕 保健事業と介護予防等の一体的な支援							
③	特定保健指導実施率	成	%	38.1 (R3)	43	47	51	56	60
		果			50	44	-		
					◎	◎	-		
	(保健福祉課)	〔指標設定の要素〕 保健指導							
④									
⑤									
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

- ・特定検診受信率及び特定保健指導実施率については確定値が10月頃に出るため、空欄とする。
- ・各種健診受診率の向上のため、受診勧奨の強化や普及啓発に取り組んでいる。また、健診結果から要指導者の抽出を行い、計画的に保健指導・介護予防を実施している。(保健福祉課)
- ・特定検診受診率については目標値を下回っている状況ではあるが、未受診者対策の取組成果としては少しずつが表れている。(市民環境課)

成果と課題

- ・県内の比較から特に保健指導実施率まだ低い状況であり課題である。(保健福祉課)
・勧奨通知の工夫により未申込者からの申込は増えたが、特定検診の個別検診の認知度が低いため更なる周知が必要である。(市民環境課)

今後の方針（施策の方向性）

- ・集団検診に加え、個別健診にも注力する内容を検討していく。(保健福祉課)
・医療費抑制、疾病予防による健康寿命の延伸等の観点から特定検診未受診者対策について保健福祉課と連携しながら進めているが、より一層の連携を図り取り組む。(市民環境課)

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
飯山市健康増進計画(第3次)	2024年度～2035年度	保健福祉課
飯山市国民健康保険第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)	2024年度～2029年度	市民環境課

基本目標 05 安全で安心して暮らしを愉しめるまち

行政分野 02 健康

施策 02 多様な健康ニーズへの対応

上段：目 標

中段：実 績

下段：達成度

施策評価の指標と実績

指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
① 糖尿病性腎症重症化 予防ハイリスクアプ ローチの人数 (保健福祉課)	活動	人	16 (R4)	20 17 ◎	20 15 ○	20 11 △	20	20
〔指標設定の要素〕 健康増進施策立案								
② 健康教室の参加者数 (保健福祉課)	成果	人	46 (R4)	30 43 ◎	30 54 ◎	30 48 ◎	30	30
〔指標設定の要素〕 健康づくり活動支援・普及								
③ 特定健診の受診率 (%) (市民環境課)	成果	%	46.1 (R3)	51 47 ◎	56 48 ◎	61 - -	65	70
〔指標設定の要素〕 健康づくり活動支援・普及								
④ 若年者の自殺者数増 加の抑止 (保健福祉課)	成果	人	0 (R3)	0 1 ×	0 0 ◎	0 0 ◎	0	0
〔指標設定の要素〕 自殺予防								
⑤								
⑥								
⑦								
⑧								
⑨								
⑩								

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

- ・特定検診の受診率については10月に確定値が公表されるため空欄
・健康教室については開催時間を細分化し、多くの方に参加しやすい運営ができた。若年者の自殺者数については目標値を達成できている。(保健福祉課)
・特定検診受診率については、目標値を下回っている状況ではあるが、未受診者対策の取組成果としては少しずつだが表れている。(市民環境課)

成果と課題

- ・若年者の自殺者は発生していないが、引き続き相談体制の充実を図っていく。(保健福祉課)
・勸奨通知の工夫により未申込者からの申込は増えたが、特定検診の個別検診の認知度が低いため、更なる周知が必要である。(市民環境課)

今後の方針（施策の方向性）

- ・第2次いのちつなぐ飯山市自殺対策計画に基づき、若年者を含め進捗状況を確認しながらより一層の充実を図る。(保健福祉課)
- ・医療費抑制、疾病予防による健康寿命延伸等の観点から保健福祉課と連携しながら進めているが、より一層の連携を図り、取り組む(市民環境課)

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
いのちつなぐ飯山市自殺対策計画	令和7 年度 ～ 令和11 年度	保健福祉課
	～	
	～	

基本目標 05 安全で安心して暮らしを愉しめるまち

行政分野 03 福祉・介護

施策 01 地域福祉の推進

上段：目 標

中段：実 績

下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	在宅福祉有償ボランティアサービス事業 利用人数 (保健福祉課)	成果	人	1,219 (R4)	1,460 1,453 ◎	1,770 1,454 ◎	1,800 1,140 △	1,800	1,800
				〔指標設定の要素〕 地域福祉意識高揚					
②	民生児童委員への相談件数 (保健福祉課)	活動	件	732 (R4)	1,000 795 ○	1,000 812 ◎	1,000 713 ○	1,000	1,000
				〔指標設定の要素〕 相談支援体制の充実					
③	総合窓口を活用した年間相談件数 (保健福祉課)	成果	件	38 (R4)	100 47 ×	100 21 ×	100 24 ×	100	100
				〔指標設定の要素〕 相談支援体制の充実					
④	見守りとうど衆の研修（※期間累計） (保健福祉課)	活動	回	1 (R3)	1 0 ×	2 0 ×	3 1 ×	4	4
				〔指標設定の要素〕 地域福祉の共助・担い手					
⑤	住民支え合いマップ またはささえあい防災マップ作成集落数 (保健福祉課)	集落 活動 数	集 落 数	83 (R4)	84 87 ◎	96 87 ◎	96 87 ◎	96	96
				〔指標設定の要素〕 災害時要援護者対策					
⑥	飯山市公式SNSの登録者数 (facebook、X、Instagram、 LINE、youtubeのフォロワー、 友達・チャンネル登録数) (事業戦略課)	成果	数	9,241 (R4)	9,600 12,998 ◎	13,100 14,528 ◎	15,000 16,262 ◎	15,000	15,000
				〔指標設定の要素〕 情報発信					
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

・SNSでの情報発信全体に関しては年々伸びており、昨年比で12%増となっており需要が高まっている。各SNS全体的に利用者が増加しており、YouTubeが34%増、LINEは23%増、Instagramは18%増となっている。(事業戦略課)

・多様化・複雑化する福祉ニーズに対応できるよう、有償ボランティアや民生委員・児童委員活動など、地域に根差した福祉の担い手への支援と連携強化に取り組むことができた。相談者は複数の問題を抱えているケースが多く、複数回にわたって対応する場合があります。関係各部署との連携が不可欠となっている。(保健福祉課)

成果と課題

- ・広報紙をベースとし、周知できた。多くの方に知っていただけるよう、幅広い世代に、タイムリーに周知する必要があります。(事業戦略課)
- ・市民から寄せられる相談は年々複雑化しており、多種多様な市民ニーズに対応するため、より高度な知識や経験や技術が求められている。(保健福祉課)

今後の方針（施策の方向性）

・広報紙ベースに付け加え、地域おこし協力隊と連携し動画でのお知らせの配信など、需要が高まるSNSを利用し、幅広い世代に対し、タイムリーに情報が発信できるよう今後体制を整えたい。(事業戦略課)

・関係機関との連携強化と、住民の地域福祉への意識の高揚と、互いに支え合う地域共生社会の構築を図る。(保健福祉課)

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 05 安全で安心して暮らしを愉しめるまち

行政分野 03 福祉・介護

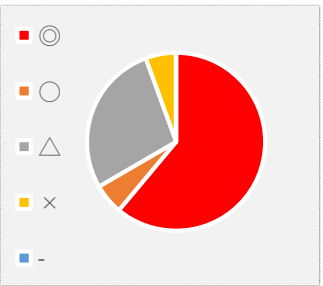
施策 02 高齢者福祉・介護サービス等の推進

 上段：目 標
 中段：実 績
 下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	湯の入荘年間利用者数	成 果	人	3,085 (R4)	10,000 6,310 △	10,000 5,588 △	10,000 4,977 ×	10,000	10,000
	(保健福祉課)	〔指標設定の要素〕 高齢者の生きがいづくりや支援							
②	地域ケア連絡会の開催数	活 動	回	12 (R4)	12 12 ◎	12 12 ◎	12 12 ◎	12	12
	(保健福祉課)	〔指標設定の要素〕 介護保険							
③	要介護・要支援認定者割合（認定率）	成 果	%	17.76 (R4)	18 18 ◎	18 17 ◎	19 17 ◎	19	0
	(保健福祉課)	〔指標設定の要素〕 介護保険							
④	集落サロン開催地区数	活 動	地 区 数	39 (R4)	45 32 ○	45 42 ◎	45 44 ◎	45	45
	(保健福祉課)	〔指標設定の要素〕 介護保険							
⑤	高齢者見守り支援システム延べ設置数	活 動	数	114 (R4)	150 99 △	150 90 △	150 81 △	150	150
	(保健福祉課)	〔指標設定の要素〕 地域包括支援・介護予防							
⑥	オレンジカフェの開催数	活 動	回	18 (R4)	18 18 ◎	18 19 ◎	18 18 ◎	18	18
	(地域包括支援センター)	〔指標設定の要素〕 地域包括支援・介護予防							
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況(5年間累計)		R5	R6	R7	R8	R9	計
8割以上	◎	3	4	4	0	0	11
7割以上～8割未満	○	1	0	0	0	0	1
5割以上～7割未満	△	2	2	1	0	0	5
5割未満	×	0	0	1	0	0	1
未定・不明	-	0	0	0	0	0	0



達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

・湯の入荘の利用者数については新型コロナの影響による大幅な利用者数減少から、年々減少している。老人クラブ数の減少によりバスでの来場者も減少。同好会来場者は横ばいであり、定期的に利用する人はいる。・集落サロンは各集落で開催する形に回帰し、取り組む集落も増加傾向にある。地域ケア連絡会も集合形式に戻ったが、冬季はオンライン開催で行うことで、参加者の負担軽減につなげている。見守り支援システムは要望に応じた導入件数となっている。要支援・要介護認定率については介護予防教室内容見直し等取り組みにより目標の範囲内となった。（保健福祉課・地域包括支援センター）

成果と課題

・様々な年代層の利用者に親んでもらえるようR5年から湯の入荘まつり等様々なイベントを開催し、年をとっても利用してもらえるように工夫しているが、60～70代の利用者にどう利用を促進するかが課題。・各種取り組みにより認定率は目標の範囲内となった。集落サロンは取り組む集落数が増え、目標値に近づきつつある。オレンジカフェは開催回数は目標を達成しているものの、参加人数が少ないことが課題。見守り支援システムの利用者は減少傾向にあるが、必要としている者が導入できるように取り組みを継続していく。（保健福祉課・地域包括支援センター）

今後の方針（施策の方向性）

・今後もイベント等を開催し利用者増に努めるが、施設の老朽化等もふまえた施設のあり方について検討が必要である。・集落サロンについては引き続き周知及び集落への支援を行い、サロンを開催する集落の増加につなげる。オレンジカフェ・見守り支援システムについては必要な者に情報が届くよう周知活動に努める。これらにより介護予防を促進し目標範囲内の認定率を維持する。（保健福祉課・地域包括支援センター）

施策に関連する事務事業

（事務事業評価対象：二次経費）

事務事業名	担当課	事業費(千円)	評価	事務事業名	担当課	事業費(千円)	評価
高齢者生きがい対策事業	保健福祉課	25,730	継続	一般介護予防事業	保健福祉課	26,918	継続
介護保険特別会計繰出金	保健福祉課	447,869	なし	地域自立生活支援事業	保健福祉課	8,196	継続
介護保険利用者負担軽減特別対策事業	保健福祉課	100	継続	生活支援体制整備・認知症支援事業	地域包括支援センター	466	継続
包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	地域包括支援センター	1,458	継続				
介護予防ケアマネジメント事業	保健福祉課	5,516	継続				
重度要介護高齢者家庭介護者慰労金等給付事業	保健福祉課	6,000	継続				
高齢者在宅福祉利用券事業	保健福祉課	100	継続				
家族介護支援事業	保健福祉課	6,024	継続				
介護給付費等費用適正化事業	保健福祉課	100	拡充				
要介護認定システム更新事業	保健福祉課		完了				
総合相談・権利擁護事業	地域包括支援センター	1,257	拡充				
介護予防・生活支援サービス事業	保健福祉課	27,216	継続				

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 05 安全で安心して暮らしを愉しめるまち

行政分野 03 福祉・介護

施策 03 障がい者（児）福祉の推進

上段：目 標

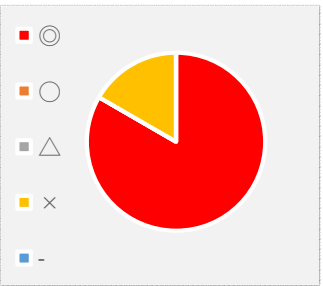
中段：実 績

下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	ひとり暮らし体験数	活動	人	3 (R4)	3 3 ◎	3 1 ×	3 1 ×	3	3
	(保健福祉課)	〔指標設定の要素〕 地域生活支援							
②	地域生活支援拠点等の数	成果	箇所	1 (R4)	1 1 ◎	1 1 ◎	1 1 ◎	1	1
	(保健福祉課)	〔指標設定の要素〕 地域生活支援							
③	ゆきんこ園の開所日数	活動	日	208 (R3)	240 238 ◎	240 242 ◎	240 240 ◎	240	240
	(保健福祉課)	〔指標設定の要素〕 障がい児に対する福祉サービス、医療的ケア							
④	権利擁護に関わる相談業務件数	活動	件	52 (R3)	50 83 ◎	50 100 ◎	50 148 ◎	50	50
	(保健福祉課)	〔指標設定の要素〕 多様な障がい者支援							
⑤									
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況(5年間累計)		R5	R6	R7	R8	R9	計
8割以上	◎	4	3	3	0	0	10
7割以上～8割未満	○	0	0	0	0	0	0
5割以上～7割未満	△	0	0	0	0	0	0
5割未満	×	0	1	1	0	0	2
未定・不明	-	0	0	0	0	0	0



達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

・ひとり暮らし体験事業の受託法人の職員体制等から、障がい者が希望する時期に体験利用することが困難になっている。（保健福祉課）

成果と課題

・障がい福祉サービス事業所においても専門スタッフの確保が課題となっている。
 ・スタッフの確保が課題となっている中、R8に北信圏域全体で障がい者地域生活支援拠点事業の見直しを行っている。
 ・ひとり暮らし体験のニーズ把握と体験の場の設定（保健福祉課）

今後の方針（施策の方向性）

・障がい福祉サービス事業所においても専門スタッフの確保が課題となっている。
 ・ひとり暮らし体験のニーズ把握と体験の場の設定（保健福祉課）

施策に関連する事務事業

（事務事業評価対象：二次経費）

事務事業名	担当課	事業費(千円)	評価	事務事業名	担当課	事業費(千円)	評価
飯山市障がい者・寝たきり老人等タクシー乗券給付事業	保健福祉課	1,010	継続				
重度心身障がい者介護慰労金支給事業	保健福祉課	1,000	継続				
人工透析患者補助事業	保健福祉課	525	継続				
障がい者地域生活支援拠点事業	保健福祉課	3,283	継続				
飯山市障がい者等通所費助成事業	保健福祉課	900	継続				
障がい者・高齢者にやさしい住宅改修促進事業	保健福祉課	1,260	継続				
地域障がい福祉推進事業	保健福祉課	4,032	継続				
母子通園施設運営事業	保健福祉課	6,093	継続				
北信圏域権利擁護センター運営事業	保健福祉課	4,583	継続				

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 05 安全で安心して暮らしを愉しめるまち

行政分野 04 医療

施策 01 地域中核医療機関の維持

上段：目 標
中段：実 績
下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	飯山赤十字病院の受診者数	活動	人	163,725 (R3)	171,382 145,648 ◎	162,690 142,354 ◎	153,350 139,347 ◎	153,350	153,350
	(保健福祉課)	〔指標設定の要素〕 地域中核医療機関							
②	資金貸付者で飯山赤十字病院に勤務した医師数（※期間累計）	成果	人	5 (R4)	1 0 ×	1 0 ×	1 1 ◎	1	1
	(保健福祉課)	〔指標設定の要素〕 医師の確保・育成							
③	年間を通じて休日・夜間に受け入れられる救急医療機関数	活動	数	2 (R4)	2 2 ◎	2 2 ◎	2 2 ◎	2	2
	(保健福祉課)	〔指標設定の要素〕 医師の確保・育成							
④									
⑤									
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

- ・飯山赤十字病院について、入院数は高い水準で推移しているが、外来数が低迷している。
・奨学資金貸付者の内1名が令和7年10月1日から飯山赤十字病院総合内科医師として従事開始。
・救急医療機関としては、飯山赤十字病院及び北信総合病院がある。(保健福祉課)

成果と課題

- ・医師不足が課題となっているが、看護師等スタッフの確保も必要となっている。
- ・奨学資金貸付者の飯山赤十字病院への就労については、令和7年度に飯山市初となる1名採用という成果をあげることができた。今後の対象者の受入については制度改革も含めて引き続き調整・検討が必要となる。（保健福祉課）

今後の方針（施策の方向性）

- ・奨学生については、病院側とともに面談するなどつながりをもって、就労に向けてサポートしていく。
・地域中核医療機関として、関係市村とともに可能な支援を継続していく。(保健福祉課)

施策に関する事務事業

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 05 安全で安心して暮らしを愉しめるまち

行政分野 04 医療

施策 02 地域医療の推進

上段：目 標

中段：実 績

下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	年間を通じて休日・夜間に受け入れられる救急医療機関数 (保健福祉課)	活動	数	2 (R4)	2 2 ◎	2 2 ◎	2 2 ◎	2	2
	〔指標設定の要素〕 地域医療の充実(子ども・妊産婦)								
②	無医地区住民の出張診療日数 (市民環境課)	活動	日	72 (R4)	70 70 ◎	72 72 ◎	72 70 ◎	72	72
	〔指標設定の要素〕 無医地区対応								
③									
④									
⑤									
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

- ・診療日数は地域の実情に合わせて行っている。(市民環境課)
- ・救急医療機関としては、飯山赤十字病院及び北信総合病院がある。(保健福祉課)

成果と課題

- ・無医地区住民の受診機会を設けている事業であるが、受診者は減少傾向にある。また、西大滝出張診療所が閉所となったことで、患者送迎が必要となっている。(市民環境課)
- ・飯山赤十字病院だけでなく、北信総合病院に対しても支援を継続している。(保健福祉課)

今後の方針（施策の方向性）

- ・以前に比べ受診者数は減少し、高齢化による運転免許の返納が増えて来ている中、他県で行っている事業(乗り合いタクシー等公共交通事業)が拡充されてきていることから、無医地区出張診療事業も統合して運用することができるのではないかと検討する必要があると考える。(市民環境課)
- ・地域中核医療機関として、関係市村とともに可能な支援を継続していく。(保健福祉課)

施策に関する事務事業

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 05 安全で安心して暮らしを愉しめるまち

行政分野 05 防災減災

施策 01 防災減災対策の推進

上段：目 標

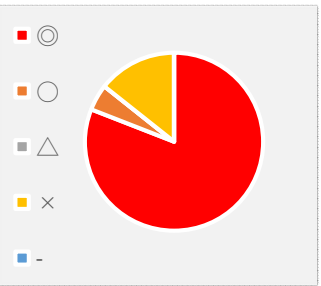
中段：実 績

下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	自主防災組織における自主的な避難訓練実施団体数	活動	集落	7 (R4)	9 10 ◎	11 14 ◎	13 15 ◎	15	17
	(危機管理防災課)	〔指標設定の要素〕 大規模災害対策							
	市主催の訓練回数	活動	回	1 (R4)	2 2 ◎	2 2 ◎	2 2 ◎	2	2
	(危機管理防災課)	〔指標設定の要素〕 訓練							
③	飯山市メール配信サービス利用者数	成果	人	1,754 (R4)	1,800 1,774 ◎	1,900 1,817 ◎	2,000 1,799 ◎	2,100	2,200
	(事業戦略課)	〔指標設定の要素〕 危険箇所啓発、情報発信							
	危険箇所等の整備数	活動	箇所	5 (R4)	4 5 ◎	4 5 ◎	4 5 ◎	4	4
	(道路河川課)	〔指標設定の要素〕 治山・治水対策							
⑤	城山雨水排水ポンプ場起動訓練回数	活動	回	6 (R4)	6 6 ◎	6 6 ◎	6 6 ◎	6	6
	(上下水道課)	〔指標設定の要素〕 治山・治水対策							
	木造住宅の耐震診断数 (※期間累計)	活動	件	39 (H30～R4累計)	7 6 ◎	14 39 ◎	21 15 ○	28	35
	(移住定住推進課)	〔指標設定の要素〕 災害危険性の低減・抑制							
⑦	危機管理監の設置	活動	単位なし	0 (R4)	1 0 ×	1 0 ×	1 0 ×	1	1
	(危機管理防災課)	〔指標設定の要素〕 危機管理監の設置							
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況(5年間累計)		R5	R6	R7	R8	R9	計
8割以上	◎	6	6	5	0	0	17
7割以上～8割未満	○	0	0	1	0	0	1
5割以上～7割未満	△	0	0	0	0	0	0
5割未満	×	1	1	1	0	0	3
未定・不明	-	0	0	0	0	0	0



達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

- ・頻発している地震により、住宅耐震化に対する関心向上から診断件数の増につながっている（移住定住推進課）
- ・全市的な訓練として水防訓練、防災訓練の二つの訓練を行った。（危機管理防災課）
- ・メール配信の緊急情報はSNSと連携し、情報を配信している。メール配信登録数は微増となっているが、連携しているLINEの登録者が前年比23%増と大幅に増加しており、SNSでの需要が高まっている。（事業戦略課）
- ・現地状況把握及び地域からの要望を踏まえ、計画的に防災対策を実施している。（道路河川課）
- ・出水期の毎月1回の起動・操作訓練を予定通り実施できた。（上下水道課）

成果と課題

- ・耐震診断・耐震改修共に毎年度実施され、住宅耐震化に対する関心は高まっているが、耐震診断で危険と診断されても、経済的負担から補強工事の実施に結び付きにくい実態がある。（移住定住推進課）
- ・避難所設置訓練を重点に住民参加型訓練として実施。避難所の設置、運営について住民自ら参加し、住民主体での実施をこの訓練で経験できる。1年に1地区実施するので全地区での実施に10年かかる。（危機管理防災課）
- ・広報紙で防災に関する特集記事を掲載したほか、メールや需要が高まるLINEなどのSNSで情報発信できたことにより、幅広い世代に対し、多様な方法で情報を届けることができた。（事業戦略課）
- ・気候変動等の影響により対策が必要な個所が増加する可能性があり、人員や事業費の不足が懸念される。（道路河川課）
- ・施設の運転を行うことが出来る職員を増やしていくことが必要。（上下水道課）

今後の方針（施策の方向性）

- ・耐震診断数については、アンケート結果に基づき実施希望数を見込みながら継続していく。（移住定住推進課）
- ・避難所の運営なども住民主体で行っていただけるようにするため、住民参加型の訓練を継続する。（危機管理防災課）
- ・実災害に備え、少ない人員でどの職員でも迅速に情報を発信できるよう検討する必要がある。（事業戦略課）
- ・状況把握に努め、国・県との情報を密にし、危険個所の整備を進める。（道路河川課）
- ・今後も定期的な訓練を実施していく。（上下水道課）

施策に関連する事務事業

（事務事業評価対象：二次経費）

事務事業名	担当課	事業費(千円)	評価	事務事業名	担当課	事業費(千円)	評価
自主防災会育成強化事業	危機管理防災課	1,050	継続				
非常備消防運営事業及び水防事業	危機管理防災課		----				
防災・減災対策事業	危機管理防災課	88,295	継続				
防災対策整備事業	道路河川課	432,700	継続				
土木施設現年度単独災害復旧事業	道路河川課	1,500	継続				
県施行急傾斜地崩壊対策事業	道路河川課	500	継続				
都市下水路管理事業	まちづくり課		統合				
排水ポンプ購入事業	道路河川課	0	継続				
公共下水道市街地雨水排水対策事業	上下水道課	22,170	継続				
住宅耐震対策事業	移住定住推進課	12,118	継続				

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 05 安全で安心して暮らしを愉しめるまち

行政分野 05 防災減災

施策 02 自主防災力の向上

上段：目 標
中段：実 績
下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	防災マップを作成した自主防災組織数 (※期間累計) (危機管理防災課)	活 動	地 区	59 (R4)	60 ◎	70 ◎	80 ○	90	95
	〔指標設定の要素〕 地域ぐるみの防災								
②									
③									
④									
⑤									
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

小さな区などはマップを必要としない場合もある。(危機管理防災課)

自主防災会で災害弱者をマップに落として把握することで、安否確認を容易にすることが可能になる。(危機管理防災課)

今後も自主防災会の要望などに応じ防災マップの元となる地図を発行するなどし、地域の防災力向上に向け事業継続する。(危機管理防災課)

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 05 安全で安心して暮らしを愉しめるまち

行政分野 06 道路

施策 01 道路ネットワークの充実

 上段：目 標
 中段：実 績
 下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	国道292号の市内改良率	成	%	92.2 (R4)	92.5	92.8	93.1	93.5	93.8
		果			92.2	92.2	97.6		
					◎	◎	◎		
	(道路河川課)	〔指標設定の要素〕 国県道の充実							
②	1・2級市道改良率	成	%	91.0 (R4)	91	92	92	92	92
		果			91	92	92		
					◎	◎	◎		
	(道路河川課)	〔指標設定の要素〕 市道の充実							
③	橋りょう点検数（※期間累計）	活	数	223（全体）	223	70	120	170	200
		動			223	100	142		
					◎	◎	◎		
	(道路河川課)	〔指標設定の要素〕 市道の充実							
④									
⑤									
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

・市道狹隘箇所や橋梁点検について、地元要望や関係法令を踏まえ、現地調査等を行いながら計画的に改良、点検、修繕を行っている。(道路河川課)

成果と課題

・対象箇所の増大に伴い、点検・確認の人員が不足しているとともに、物価上昇等により費用が増大している。
(道路河川課)

今後の方針（施策の方向性）

・国・県からの財源を把握しつつ、交通需要に応じた優先順位を定め、点検、改良を進める。(道路河川課)

施策に関する事務事業

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 05 安全で安心して暮らしを愉しめるまち

行政分野 06 道路

施策 02 道路環境の維持・向上

上段：目 標

中段：実 績

下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	交通事故件数（人身事故）（※暦年集計）	成	件	40（R4）	35	32	29	26	23
		果			28	24	21		
					◎	◎	◎		
	（道路河川課）	〔指標設定の要素〕 歩行者や自転車の安全確保							
②	フラワーロード事業への参加団体（メモリーロード・ガーデン含）	活	団	39（R4）	40	40	40	40	40
		動	体		41	42	42		
					◎	◎	◎		
	（まちづくり課）	〔指標設定の要素〕 道路修景							
③									
④									
⑤									
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

・各団体の景観に対する意識もあり、フラワーロード事業に毎年参加していただいている。(まちづくり課)
・交通安全対策会議を通じ、各種団体と連携し交通安全意識の高揚を図るとともに、通学路等における安全対策(整備)を進めている。(道路河川課)

成果と課題

・国道や西廻り線沿線など通行量の多い場所で実施していることから、市内外から高い評価をいただいている。一方で猛暑の中での草取りが負担となっており、それぞれに割り振った延長に対して減らしてほしいとの要望が多い。花にとっても過酷な環境下にある。(まちづくり課)

・交通安全意識の向上に伴う交通事故件数の減少、及び交通安全に配慮した道路整備が進捗している。少子高齢化や人口減少に伴い、交通安全に係る地域のキーマンが不足している。(道路河川課)

今後の方針（施策の方向性）

・フラワーロード事業は長年に渡り地域の方にも参加していただき実施しており、重要な事業と考えている。また市内外からの評価も高いため、引続き皆さんにご協力をいただき事業を実施していきたい。しかし、近年の気候変動による酷暑により沿道花壇の状況は50℃にもなる事から、花の生育や草取り作業にも影響が出ているのでこれらの課題を克服し新たなフラワーロードとして事業展開していきたい。(まちづくり課)

・交通安全対策会議を通じた交通安全意識の高揚を図るとともに、防災無線やSNSなど各種媒体を通じ広報を進める。また、通学路等の安全点検結果を踏まえ、必要に応じ対策を講じる。(道路河川課)

施策に関する事務事業

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
飯山市景観計画	H26 年度 ～	まちづくり課
	～	
	～	

基本目標 05 安全で安心して暮らしを愉しめるまち

行政分野 07 公園

施策 01 魅力ある公園づくり

上段：目 標

中段：実 績

下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	公園での事故や怪我の発生件数	活 動	時 間	0 (R4)	0 0 ◎	0 0 ◎	0 0 ◎	0	0
	(まちづくり課)	〔指標設定の要素〕 利便性・価値の向上							
②	城址公園事業の整備率	成 果	%	47 (R4)	55 60 ◎	75 75 ◎	100 90 ◎	100	100
	(まちづくり課)	〔指標設定の要素〕							
③									
④									
⑤									
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

・公園利用者が公園での事故やけがが発生しないよう遊具の定期点検を行い、必要に応じて修繕を行っている。
城址公園事業は、雨水対策工事との調整を図りながら着実に事業を進められている。(まちづくり課)

成果と課題

・公園の遊具は定期的な点検や必要な修繕を行うことで、事故やけがの発生を防いでいる。城址公園事業は着実に進捗が図られている。利用者のニーズにあわせて公園整備を進めることが望ましいが財源確保に課題がある。(まちづくり課)

今後の方針（施策の方向性）

・魅力ある公園づくり継続的に進めるために、公民連携事業等民間による公園運営も視野に入れていく。(まちづくり課)

施策に関する事務事業

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
城山公園整備計画	平成28 年度 ～ 令和7 年度	まちづくり課
	～	
	～	

基本目標 05 安全で安心して暮らしを愉しめるまち

行政分野 07 公園

施策 02 安全な公園施設の維持

上段：目 標

中段：実 績

下段：達成度

施策評価の指標と実績

指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
① 公園での事故や怪我の発生件数	成 果	件	0 (R4)	0 0 ◎	0 0 ◎	0 0 ◎	0	0
(まちづくり課)	〔指標設定の要素〕 公園機能向上							
② 都市公園内及び城址公園内に雨水貯留施設の設置 (※期間累計)	活 動	箇所	0 (R4)	0 0 -	0 0 -	2 0 ×	2	2
(上下水道課)	〔指標設定の要素〕 防災機能							
③								
④								
⑤								
⑥								
⑦								
⑧								
⑨								
⑩								

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

- 公園での事故やけがが発生しないよう遊具の定期点検を行い、必要に応じて修繕を行っている。(まちづくり課)
・飯山城址雨水貯留施設について、R6より工事(1期工事)に着手し、R7は2期工事に着手した。(上下水道課)

成果と課題

- ・公園の遊具は定期的な点検や必要な修繕を行うことで、事故やけがの発生を防いでいる。公園の遊具は老朽化してきており、更新が必要となってくるが利用者数を考慮しながら検討をしたい。(まちづくり課)
- ・整備スケジュール随時ローリングしていくことが必要。(上下水道課)

今後の方針（施策の方向性）

- 公園の遊具は今後も定期的な点検を行い、必要に応じて修繕をしていく。(まちづくり課)
・R7年度に策定した「雨水総合管理計画」も踏まえ、市民の浸水被害を最小限にとどめるために事業を継続していく必要がある。(上下水道課)

施策に関する事務事業

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 05 安全で安心して暮らしを愉しめるまち

行政分野 08 上下水道

施 策 01 上水道の安定供給

上段：目 標

中段：実 績

下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	上水道有収率	成	%	69.0 (R3)	72.3	75.1	70.0	80.0	80.0
		果			60.2	58.2	54.5		
					◎	○	○		
	(上下水道課)	〔指標設定の要素〕 水道施設の維持管理・健全経営の維持							
②									
③									
④									
⑤									
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

有収率は目標値70.0%に対し54.5%と、目標値には届かず昨年度比も3.7%減少している。(上下水道課)

成果と課題

漏水が確認された地区について漏水調査を行い、一部漏水解消が図られたが、水道管老朽化に伴う漏水が増加傾向となっており、全体として目標有収率に達しなかった。（上下水道課）

今後の方針（施策の方向性）

令和7年度は有収率の改善のため衛星による漏水調査を行い、漏水していると思われる箇所を10分の1に絞り込んだ。令和8年度にかけて、絞り込んだ箇所の詳細な調査を行うことにしている。併せて管路更新計画に基づく老朽管の布設替え工事を実施していく。(上下水道課)

施策に関連する事務事業

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
飯山市水道事業経営戦略	2019 年度 ～ 2028 年度	上下水道課
	～	
	～	

基本目標 05 安全で安心して暮らしを愉しめるまち

行政分野 08 上下水道

施策 02 下水道の適正管理

上段：目 標
中段：実 績
下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	耐震診断・実施設計の実施率 (※期間累計) (上下水道課)	成 果	%	60 (R4)	70 70 ◎	70 70 ◎	100 70 ○	100	100
	〔指標設定の要素〕 下水道の普及・維持管理								
②	下水道有収率 (上下水道課)	成 果	%	74.4 (R3)	76.3 79 ◎	77.2 74.1 ◎	78.2 76.1 ◎	79.1	80.0
	〔指標設定の要素〕 下水道の普及・維持管理								
③	水洗化率（適正処理率） (上下水道課)	成 果	%	94.9 (R4)	95.1 95.3 ◎	95.2 95 ◎	95.3 95.2 ◎	95.4	95.5
	〔指標設定の要素〕 下水道の普及・維持管理								
④	公営企業会計への移行割合 (上下水道課)	成 果	%	0 (R3)	0 0 ◎	100 100 ◎	100 100 ◎	100	100
	〔指標設定の要素〕 健全な事業経営								
⑤	終末処理場の再生可能エネルギーの導入 (上下水道課)	活 動	単 位 無 し	— (R4)	0 0 ◎	0 0 ◎	0 0 ◎	0	1
	〔指標設定の要素〕 再生可能エネルギー								
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況(5年間累計)		R5	R6	R7	R8	R9	計
8割以上	◎	5	5	4	0	0	14
7割以上～8割未満	○	0	0	1	0	0	1
5割以上～7割未満	△	0	0	0	0	0	0
5割未満	×	0	0	0	0	0	0
未定・不明	-	0	0	0	0	0	0

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

①、②、③については目標どおり進捗している。
 ④についてはR6年4月から公営企業会計に移行することができた。
 ⑤については、導入について検討を重ねてきたが、昨今の社旗情勢の変化に伴う導入費用の高騰により、現状では導入困難。（上下水道課）

成果と課題

⑤について、下水道施設からの電力消費に伴う温室効果ガス発生は従来から課題となっているが、現状では再生可能エネルギーの導入により下水道事業の経営を圧迫することは必然であることから、多面的な省エネに向けての検討が必要。（上下水道課）

今後の方針（施策の方向性）

①、②、③については更なる改善に努める。⑤については極小規模施設に導入可能なシステムについて研究を継続していく。（上下水道課）

施策に関連する事務事業

（事務事業評価対象：二次経費）

事務事業名	担当課	事業費(千円)	評価	事務事業名	担当課	事業費(千円)	評価
下水道施設耐水化事業（汚水）	上下水道課	29,590	継続	公共下水道事業（建設改良費）	上下水道課	66,721	継続
下水道施設耐水化事業（雨水）	上下水道課	17,020	継続	特環公共下水道事業（建設改良費）	上下水道課	48,395	継続
公共下水道事業（汚水・管渠費）	上下水道課	32,203	継続				
公共下水道事業（汚水・ポンプ場費）	上下水道課	7,413	継続				
公共下水道事業（処理場費）	上下水道課	108,202	継続				
特環公共下水道事業道（汚水・管渠費）	上下水道課	55,794	継続				
特環公共下水道事業道（処理場費）	上下水道課	53,379	継続				
農集排水事業（汚水・管渠費）	上下水道課	10,894	継続				
農集排水事業（処理場費）	上下水道課	37,677	継続				
下水道情報デジタル化事業（公共）	上下水道課	7,990	継続				
下水道情報デジタル化事業（雨水）	上下水道課	12,490	継続				
下水道情報デジタル化事業（特環）	上下水道課	7,120	継続				

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 05 安全で安心して暮らしを愉しめるまち

行政分野 09 防犯・交通安全

施策 01 防犯対策の推進

上段：目 標

中段：実 績

下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	犯罪件数（※暦年集計）	成	件	67（R4）	34	31	28	25	22
		果			75	68	53		
					×	×	×		
	（企画財政課）	〔指標設定の要素〕 防犯							
②	出前講座でインターネットに関する講座の開催	活	回	0（R4）	0	1	1	1	1
		動			0	3	2		
					-	◎	◎		
	（市民学習支援課）	〔指標設定の要素〕 健全な社会環境づくり							
③									
④									
⑤									
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

・出前講座「スマホ教室」を開催した。出前講座は依頼者の希望により開催するが、集落サロンや年配の方を対象とした老燃教室で安全なスマホの使い方に関するニーズが高く、実施に至った。(市民学習支援課)

成果と課題

・スマホの使用はインターネットが不可欠であり、日常的に使うスマホを通してインターネットへの抵抗を少なくし、適正な利用につなげていく必要がある。(市民学習支援課)

今後の方針（施策の方向性）

・インターネットに関する関心を深め、適切に利用していただけるような講座開催を目指していきたい。(市民学習支援課)

施策に関する事務事業

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 05 安全で安心して暮らしを愉しめるまち

行政分野 09 防犯・交通安全

施策 02 交通安全の推進

上段：目 標
中段：実 績
下段：達成度

施策評価の指標と実績

指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
① 交通事故件数（人身事故）（※暦年集計） （道路河川課）	成 果	件	40（R4）	35 28 ◎	32 24 ◎	29 21 ◎	26	23
〔指標設定の要素〕 交通安全施設の設置								
② 運転免許返納者への施策の実施 （企画財政課）	活 動	単 位 な し	検 討（R4）	0 0 -	1 0 ×	1 2 ◎	1	1
〔指標設定の要素〕 運転免許証の自主返納								
③								
④								
⑤								
⑥								
⑦								
⑧								
⑨								
⑩								

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

交通安全対策会議を通じ、各種団体と連携し、交通安全意識の高揚を図っている。(道路河川課)
・運転免許返納者への支援策として、「高齢者運転免許証自主返納等支援補助金」を交付した。また、高齢者、障がい者、免許返納者を対象に、市内公共交通で利用できる回数券を給付する「福祉乗り物利用券給付事業」を実施した。(保健福祉課)

成果と課題

・少子高齢化や人口減少に伴い、交通安全に係る地域のキーマンが不足している。(道路河川課)
・免許返納支援や福祉乗り物利用券の給付により、運転免許の自主返納を促進するとともに、返納後の移動手段を確保することで高齢者等の交通安全と外出支援を図ることができた。(保健福祉課)

今後の方針（施策の方向性）

交通安全対策会議を通じた交通安全意識の高揚を図るとともに、防災無線やSNSなど各種媒体を通じ広報を進める。(道路河川課)

施策に関する事務事業

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 05 安全で安心して暮らしを愉しめるまち

行政分野 10 消防・救急

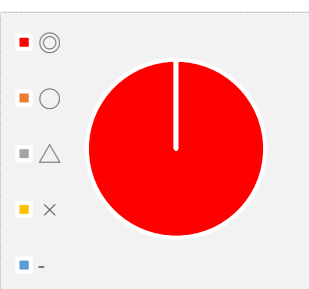
施 策 01 消防体制の強化

上段：目 標
中段：実 績
下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	消防救急車両配備基準充足率 救急車両	成 果	%	100 (R4)	100 100 ◎	100 100 ◎	100 100 ◎	100	100
	(企画財政課)	〔指標設定の要素〕 消防力の向上							
②	管轄内火災の出場件数	成 果	件	7 (R4)	6 6 ◎	5 12 ◎	4 9 ◎	3	3
	(危機管理防災課)	〔指標設定の要素〕 地域の消防防災施設							
③	消防団員数	成 果	人	689 (R4)	710 678 ◎	730 691 ◎	750 660 ◎	770	780
	(危機管理防災課)	〔指標設定の要素〕 消防団員の確保							
④									
⑤									
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況 (5年間累計)		R5	R6	R7	R8	R9	計
8割以上	◎	3	3	3	0	0	9
7割以上～8割未満	○	0	0	0	0	0	0
5割以上～7割未満	△	0	0	0	0	0	0
5割未満	×	0	0	0	0	0	0
未定・不明	－	0	0	0	0	0	0



達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

機能別消防団員の制度を取り入れることで、消防団員数の確保につなげている。(危機管理防災課)

成果と課題

人数や災害時の人員確保には機能別消防団員が機能しているが、一方で分団内で機能別消防団員の比率が上がると、現役一般団員の負担が増す。(危機管理防災課)

今後の方針（施策の方向性）

非常備消防(消防団)は地域の防災減災力の要となっているのでこれを維持しながら事業継続する。(危機管理防災課)

施策に関する事務事業

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 05 安全で安心して暮らしを愉しめるまち

行政分野 10 消防・救急

施策 02 救急体制の強化

上段：目 標
中段：実 績
下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	消防救急車両配備基準充足率 救急車両	成 果	%	100 (R4)	100 100 ◎	100 100 ◎	100 100 ◎	100	100
	(企画財政課)	〔指標設定の要素〕 救急(医療)体制							
②	出動指令から現場到着までに要する時間	成 果	秒	544 (R4)	530 612 ◎	518 588 ◎	507 517 ◎	495	495
	(危機管理防災課)	〔指標設定の要素〕 救急(医療)体制							
③									
④									
⑤									
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

--

--

--

(事務事業評価対象：二次経費)

施策に関連する主な個別計画

128

基本目標 05 安全で安心して暮らしを愉しめるまち

行政分野 11 消費者保護

施策 01 消費者保護の推進

上段：目 標

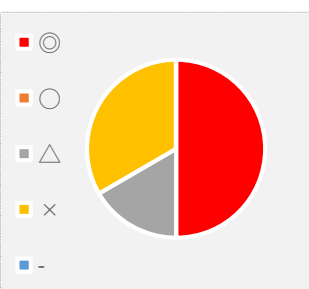
中段：実 績

下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	消費生活相談件数	成	件	83 (R3)	100	100	100	100	100
		果			97	105	105		
					◎	◎	◎		
	(市民環境課)	〔指標設定の要素〕 消費者保護							
②	消費者生活の出前講座の開催数	活	件	3 (R3)	3	3	3	3	3
		動			2	1	1		
					△	×	×		
	(市民環境課)	〔指標設定の要素〕 消費者保護							
③									
④									
⑤									
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況 (5年間累計)		R5	R6	R7	R8	R9	計
8割以上	◎	1	1	1	0	0	3
7割以上～8割未満	○	0	0	0	0	0	0
5割以上～7割未満	△	1	0	0	0	0	1
5割未満	×	0	1	1	0	0	2
未定・不明	－	0	0	0	0	0	0



達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

・令和元年度より相談件数は増加傾向にあり、近年は物品購入に係る相談が中心となっているほか、50歳代以降の相談者が多く見られる。(市民環境課)

成果と課題

消費者の資力に甚大な被害を及ぼす「電話でお金詐欺」については、警察と連携し未然防止に努めている。(市民環境課)

今後の方針（施策の方向性）

・特定の相談が後を絶たないことから、ケースを絞り未然防止を図っていく。(市民環境課)

施策に関する事務事業

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 05 安全で安心して暮らしを愉しめるまち

行政分野 12 克雪

施策 01 生活道路等の除雪

上段：目 標
中段：実 績
下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	生活道路除雪率（除雪計画路線対象）	活動	%	100（R4）	100 100 ◎	100 100 ◎	100 100 ◎	100	100
	（道路河川課）	〔指標設定の要素〕 市道除雪							
②	除雪オペレーターの後継者育成数	成果	人	3（R4）	3 3 ◎	3 10 ◎	3 3 ◎	3	3
	（道路河川課）	〔指標設定の要素〕 除雪オペレーター育成							
③									
④									
⑤									
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

・老朽化した除雪車や消融雪施設の計画的な更新により、生活道路除雪率の向上が図られた。除雪連絡協議会と連携を図り、オペレーター雇用支援事業を推進し、除雪オペレーターの確保に努めることができた。(道路河川課)

成果と課題

・安心安全な市道の交通確保が図られた。消融雪施設の老朽化が進み、早急な更新が必要とともに、物価上昇等により修繕及び更新事業費が増大している。(道路河川課)

今後の方針（施策の方向性）

・交通量など現地状況に応じた施設更新の優先順位を定め、計画的に更新工事を行うことにより、安定した除雪体制の構築を図る。(道路河川課)

施策に関する事務事業

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 05 安全で安心して暮らしを愉しめるまち

行政分野 12 克雪

施策 02 冬の暮らしの安心・安全確保

上段：目 標

中段：実 績

下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	雪かき支援員人数 (※期間累計)	活動	人	7 (R4)	12 12 ◎	12 12 ◎	12 12 ◎	12	12
	(危機管理防災課)	〔指標設定の要素〕 雪かき支援隊制度の創設							
②	スクラム除雪実施集 落数	活動	集落	17 (R4)	17 15 ◎	17 17 ◎	17 17 ◎	17	17
	(道路河川課)	〔指標設定の要素〕 協働の除排雪(スクラム除雪)							
③	雪下ろし作業中の事 故件数	成果	件	1 (R4)	0 0 ◎	0 6 ×	0 3 ×	0	0
	(移住定住推進課)	〔指標設定の要素〕 住宅等の克雪							
④	玄関先除雪作業員の 人数	活動	人	174 (R3)	180 198 ◎	190 194 ◎	200 191 ◎	210	220
	(危機管理防災課)	〔指標設定の要素〕 高齢者等玄関先などの除雪支援							
⑤	高齢者冬期共同住宅 入居者希望者数	活動	単 位 無 し	訓練実施 (R4)	5 1 ×	4 3 ○	0 0 -	0	0
	(保健福祉課)	〔指標設定の要素〕 冬期間の共同住宅							
⑥	除雪の窓口を一本化 にした事業の研究	活動	単 位 な し	— (R4)	0 1 ◎	1 1 ◎	1 1 ◎	1	1
	(企画財政課)	〔指標設定の要素〕 除雪等の窓口の一本化							
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

A pie chart showing the distribution of responses for the question 'What is the most important factor in choosing a location for a new business?'. The chart is divided into six segments: a large red segment (approximately 55%), a yellow segment (approximately 20%), a blue segment (approximately 10%), a small orange segment (approximately 5%), a small grey segment (approximately 5%), and a very small dark blue segment (approximately 2%). A legend to the left of the chart lists six categories with corresponding symbols: a red square, a grey circle with a dot, an orange square, a white circle, a grey square, a white triangle, a yellow square, a black cross, a blue square, and a black dash.

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

- ・事業を周知していく中で、雪下ろし作業中の安全意識が高まっていることが主な要因と考えられる。(移住定住推進課)
- ・除雪窓口の一本化については、制度構築・見直し等の業務に着手し達成できた。(企画財政課)
- ・区と連携を図り、スクラム除雪事業を推進し、市道除雪の確保が図られた。(道路河川課)
- ・支援員自体の高齢化も進んでいるが人数は確保できている。(危機管理防災課)

成果と課題

- ・成果:雪下ろし作業を無くす、作業時の危険を無くす点で安全向上に寄与している。(移住定住推進課)
- ・道路除雪以外の除雪関係(屋根雪下ろし、玄関先除雪、除雪支援隊)の窓口を危機管理防災課に一本化した。また、雪かき支援員12名を冬期間市で任用し、自力では除雪できない高齢者、障がい者等世帯に対する雪かき支援を充実させ、冬の暮らしの不安解消を図った。(企画財政課)
- ・課題:作業者(法人、個人)の確保(危機管理防災課)

今後の方針（施策の方向性）

- ・高齢化が進む中で需要は高まっており、作業中の事故を防ぐために事業の継続が必要。(移住定住推進課)
- ・雪かき支援制度の継続実施(企画財政課)
- ・制度の認知度も向上しており、対象者からは評価されているため今後も事業継続としたい。(危機管理防災課)
- ・実証試験結果を鑑み、状況に大きな変化がない限り高齢者冬期共同住宅事業は実施しない。高齢者世帯が冬期間を安心して暮らせるよう、丁寧なニーズ把握は継続して行う。(保健福祉課)
- ・区と連携を図り、現地状況や作業内容に応じてスクラム除雪事業を推進する。場合によっては、玄関先除雪等と連携し、人員確保、除雪費用の削減に努める。(道路河川課)

施策に関連する事務事業

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 05 安全で安心して暮らしを愉しめるまち

行政分野 13 集落維持

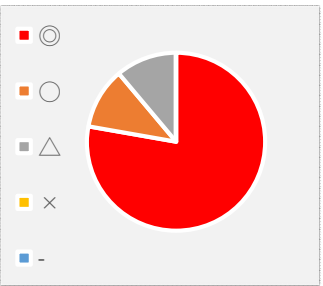
施策 01 持続可能な集落づくり

上段：目 標
中段：実 績
下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	集落支援員（※期間累計）	活 動	集 落	0（R4）	1 1 ◎	2 1 △	3 4 ◎	4	5
	（事業戦略課）	〔指標設定の要素〕 集落維持施策							
②	整備（支援）を実施した箇所	活 動	箇 所	28（R4）	28 27 ◎	28 26 ◎	28 27 ◎	28	28
	協働のみちづくり （道路河川課）	〔指標設定の要素〕 安心・安全な暮らしの確保							
③	整備（支援）を実施した集落数	活 動	集 落	27（R4）	30 24 ◎	30 27 ◎	30 27 ◎	30	30
	協働のいじしゅうぜん （道路河川課）	〔指標設定の要素〕 安心・安全な暮らしの確保							
④	整備（支援）を実施した数（件数）	活 動	件	11（R4）	8 7 ◎	8 5 △	11 9 ◎	11	11
	協働のもりづくり （森林農地整備課）	〔指標設定の要素〕 安心・安全な暮らしの確保							
⑤	整備（支援）を実施した件数	活 動	件	43（R4）	45 39 ◎	45 32 ○	45 32 ○	45	45
	協働のむらづくり （森林農地整備課）	〔指標設定の要素〕 安心・安全な暮らしの確保							
⑥	共同集会施設を整備した区数（※期間累計）	活 動	集 落 数	25（R4）	40 51 ◎	62 65 ◎	74 84 ◎	85	0
	（事業戦略課）	〔指標設定の要素〕 集落維持施策							
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況(5年間累計)		R5	R6	R7	R8	R9	計
8割以上	◎	6	3	5	0	0	14
7割以上～8割未満	○	0	1	1	0	0	2
5割以上～7割未満	△	0	2	0	0	0	2
5割未満	×	0	0	0	0	0	0
未定・不明	-	0	0	0	0	0	0



達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

- ・①買物弱者対策と地域の見守りを兼ねた集落支援員、斑尾未来計画を検討する集落支援員、合わせて2名を配置できた。⑥要望のあったすべての区に対して、共同集会施設の改修等に対する補助を行った。（事業戦略課）
- ・地域からの要望に応じ、各区と連携しながら要望事業の推進を図った。（道路河川課）

成果と課題

- ①地域のニーズに応じて、それぞれノウハウや制度を生かし集落支援員制度を活用し、地域課題解決を図った。なお、区長をはじめ地域住民に対しては、集落支援員制度に関する理解を深めるための周知を行う必要がある。⑥各区の地域コミュニティ機能を高め、持続可能な集落活動の推進に寄与することができた。令和8年度まで1度きりの活用であるため、漏れなく計画的な整備について区へ周知する必要がある。（事業戦略課）

今後の方針（施策の方向性）

- ・①地域や集落の課題解決に向けた制度の活用については、活性化センター所長から理解を得られるよう、協議を行いたい。⑥引き続き、区長協議会等で周知を行い、要望に対して必要な経費への支援を行う。（事業戦略課）
- ・引き続き各区と連携し、地域活動への支援を進める。（道路河川課）

施策に関連する事務事業

（事務事業評価対象：二次経費）

事務事業名	担当課	事業費(千円)	評価	事務事業名	担当課	事業費(千円)	評価
集落合併支援事業	事業戦略課		なし				
区長行政事務委託事業	総務課	18,371	継続				
コミュニティ助成・地域活動助成事業	総務課	1,300	継続				
協働のみちづくり事業	道路河川課	15,600	継続				
協働のいじしゅうぜん事業	道路河川課	1,242	継続				
協働のもりづくり事業	農林課	2,500	継続				
協働のむらづくり事業	農林課	8,600	継続				
持続可能な集落活動事業	事業戦略課	27,068	継続				
共同集会施設建設事業	事業戦略課		なし				
活性化センター整備事業	総務課	300	継続				
危険空家対策事業	移住定住推進課	7,324	継続				

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 05 安全で安心して暮らしを愉しめるまち

行政分野 14 行財政

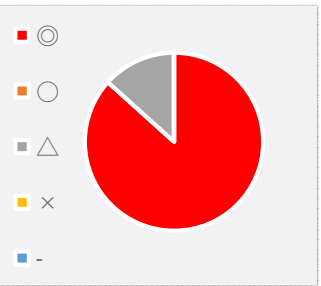
施策 01 効果的で質の高い行政運営

上段：目 標
中段：実 績
下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	AI・RPAの利用推進 (※期間累計)	成 果	件	— (R4)	2 2 ◎	3 2 △	4 4 ◎	5	6
	(事業戦略課)	〔指標設定の要素〕 行政運営							
②	申請手続きのオンラ イン化 (※期間累 計)	活 動	件	25 (R4)	26 25 ◎	28 29 ◎	30 30 ◎	32	35
	(事業戦略課)	〔指標設定の要素〕 行政運営							
③	職員研修への参加者 数	活 動	人	923 (R4)	900 611 △	900 1039 ◎	900 1187 ◎	900	900
	(総務課)	〔指標設定の要素〕 行政運営							
④	正規職員数	活 動	人	230 (R4)	230 236 ◎	237 237 ◎	240 237 ◎	240	240
	(総務課)	〔指標設定の要素〕 行政運営							
⑤	会計年度任用職員数	活 動	人	351 (R4)	360 361 ◎	360 355 ◎	360 354 ◎	360	360
	(総務課)	〔指標設定の要素〕 行政運営							
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況(5年間累計)		R5	R6	R7	R8	R9	計
8割以上	◎	4	4	5	0	0	13
7割以上～8割未満	○	0	0	0	0	0	0
5割以上～7割未満	△	1	1	0	0	0	2
5割未満	×	0	0	0	0	0	0
未定・不明	-	0	0	0	0	0	0



達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

・DX推進計画に基づき、文字起こしや防災業務の業務改革において、AI・RPAツールを導入して業務の効率化を図った。なお、RPAは防災業務に留まっており、職員への理解や研修を行い、利活用を図る必要がある。また、市民等の行政手続きにおいては、「電子の窓口」を設置し、行政手続きのオンライン窓口を一元化し、利便性の向上を図った。（事業戦略課）

・引き続き効果的な職員研修を実施していく。（総務課）

成果と課題

・AIとRPAの導入により業務効率は向上したが、システムの定着には職員のスキル向上や利用促進、さらに取り組みの費用対効果の測定が必要。DX推進計画の重点取組として手続きをオンライン化した。今後、職員には手続き登録作業の習熟やオンライン化に伴うBPRが求められるほか、市民への周知に加え、高齢者などへのデジタルバインド対策を行う必要がある。（事業戦略課）

・業務多忙等により研修の受講が困難な状況が見受けられる。職員が都合のよい時に受講可能なeラーニングを導入しているので、必要性を見極めたうえで拡大を進める。（総務課）

今後の方針（施策の方向性）

・DX推進計画に基づき、市民・来訪者の利便性の向上を図るとともに、市役所業務のスマート化を推進する。（事業戦略課）

・引き続き計画的に各施策を進めていく。（総務課）

施策に関連する事務事業

（事務事業評価対象：二次経費）

事務事業名	担当課	事業費(千円)	評価	事務事業名	担当課	事業費(千円)	評価
飯山市DX推進事業	事業戦略課	29,401	継続	参議院議員通常選挙執行事業	選挙管理委員会事務局	0	継続
庁内システム更新事業	事業戦略課	55,900	継続	道路台帳整備事業	道路河川課	5,390	継続
DXシステム整備事業	事業戦略課	41,721	継続	未登記対策事業	道路河川課	300	継続
飯山市DX推進事業	事業戦略課	29,401	継続	国勢調査	企画財政課	-	継続
職員研修事業	総務課	2,950	継続	経済センサス活動調査	企画財政課	1,644	継続
議員研修事業	議会事務局	2,018	継続	農林業センサス調査	企画財政課	-	継続
政務活動事業	議会事務局	1,920	継続	全国家計構造調査	企画財政課	-	継続
庁舎整備事業	総務課	17,200	継続	就業構造基本調査	企画財政課	-	継続
集中管理公用車更新事業	総務課	0	継続	住宅・土地統計調査	企画財政課	-	継続
庁内事務機器更新事業	総務課		なし	表彰事業	事業戦略課	839	継続
総合窓口相談員設置事業	保健福祉課	2,759	継続	政策推進事業	事業戦略課	300	継続
長野県議会議員一般選挙執行事業	選挙管理委員会事務局	6,722	継続				

施策に関連する主な個別計画

計画名		計画期間(年度又は年)				所管課	
飯山市人材育成基本方針		R5	年度	～	R9	年度	総務課
飯山市職員定員管理計画		R5	年度	～	R9	年度	総務課
				～			

基本目標 05 安全で安心して暮らしを愉しめるまち

行政分野 14 行財政

施 策 02 健全な財政運営

上段：目 標

中段：実 績

下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区 分	単 位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	未収金額	成 果	万 円	4,279 (R4)	4,100 3,508 ◎	3,930 3,241 ◎	3,800 3,786 ◎	3,700	3,600
	(企画財政課)	〔指標設定の要素〕 財政運営							
②	現年度収納率	成 果	%	98.9 (R3)	99 99.8 ◎	99 99.8 ◎	99.0 99.8 ◎	99.0	99.0
	(税務課)	〔指標設定の要素〕 財政運営							
③	基金残高	成 果	億 円	61.1 (R4)	47 61 ◎	38 56 ◎	35.0 57 ◎	34.0	33.0
	(企画財政課)	〔指標設定の要素〕 財政運営							
④	財政力指数	成 果	単 位 無 し	0.35 (R4)	0.35 0.34 ◎	0.35 0.33 ◎	0.35 0.33 ◎	0.35	0.35
	(企画財政課)	〔指標設定の要素〕 財政運営							
⑤	経常収支比率	成 果	単 位 無 し	92.3 (R4)	92.5 91.7 ◎	92.5 91.6 ◎	92.0 90.9 ◎	92.0	92.0
	(企画財政課)	〔指標設定の要素〕 財政運営							
⑥	ふるさと納税寄附額	成 果	億 円	9.3 (R4)	12 6 △	24 6 ×	36 5 ×	48	60
	(企画財政課)	〔指標設定の要素〕 財政運営							
⑦	普通財産の処分件数	活 動	件	1 (R4)	2 3 ◎	2 1 △	2 9 ◎	2	2
	(総務課)	〔指標設定の要素〕 財政運営							
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況(5年間累計)		R5	R6	R7	R8	R9	計
8割以上	◎	6	5	6	0	0	17
7割以上～8割未満	○	0	0	0	0	0	0
5割以上～7割未満	△	1	1	0	0	0	2
5割未満	×	0	1	1	0	0	2
未定・不明	-	0	0	0	0	0	0

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

・未収金については、減少傾向が続いていたが、R7年度は増加することとなった。これは1件未収金額が1千万円を超える事例が発生したことによるもので、他債権は減少傾向となっている。また、基金残高については令和7年度は少雪等の影響から除排雪経費が減少したこと等により、約1億円の増となった。しかしながら、ふるさと納税寄附額については返礼品の多様性、自治体間の競争激化などの理由により寄附額の減少傾向は続いている。（企画財政課）

成果と課題

・ふるさと納税寄附額の減少については、目標値と実績に大きな乖離が生じており、全国的な自治体間の競争が激化する中、新たな返礼品の開拓や本市の魅力発信など、寄附獲得に向けた戦略的な取組の強化が課題となっている。基金残高についてもR7年度は前年度比約1億増となっているが、岳北広域行政組合のエコパーク寒川の大規模改修、2028国スポへ向けた整備、千曲川の内水排除施設の整備、市街地の雨排水対策等の大型事業が続く、その財源確保が課題となっている。（企画財政課）

今後の方針（施策の方向性）

・引き続き健全な財政運営に努めていくとともに、ふるさと寄附金の推進は事業の実施及び健全財政を図るためにも大きな影響力を持つことから、今後も推進を図るとともに個人版だけでなく、企業版ふるさと納税に対しても積極的に企業を訪問する等、財源確保に努めていく。（企画財政課）

施策に関連する事務事業

（事務事業評価対象：二次経費）

事務事業名	担当課	事業費(千円)	評価	事務事業名	担当課	事業費(千円)	評価
企画事務費	企画財政課	2,582	----				
市民税等賦課事業	税務課	943	継続				
資産税賦課事業	税務課	12,166	継続				
市税収納率向上対策事業	税務課	963	継続				
公会計整備事業	企画財政課	2,307	----				
ふるさと寄附金推進事業	企画財政課	745,768	継続				
飯山市公共施設マネジメント推進事業	総務課		なし				
福祉企業センター施設整備事業	福祉企業センター		完了				
普通財産管理事業	総務課	17,632	再設計				
保健センター改修事業	保健福祉課	660	継続				

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
	～	
	～	
	～	

基本目標 05 安全で安心して暮らしを愉しめるまち

行政分野 14 行財政

施 策 03 広域連携の推進

上段：目 標

中段：実 績

下段：達成度

施策評価の指標と実績

	指標名	区分	単位	基準値	R5	R6	R7	R8	R9
①	第三次北信地域定住自立圏共生ビジョンの事業数 (企画財政課)	活動	事業数	41 (R4)	41 39 ◎	41 32 ○	41 31 ○	41	41
				〔指標設定の要素〕 広域連携					
②	イベント交流の参加回数 (商工観光課)	活動	回数	11 (R4)	25 21 ◎	25 21 ◎	25 19 ○	25	25
				〔指標設定の要素〕 広域連携					
③									
④									
⑤									
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									

達成状況の分析（達成又は未達成の理由・要因）

- ・北信地域定住自立圏共生ビジョン(令和4(2022)年度～令和8(2026)年度)に定めた事業のうち31事業を実施した。R7は北信州ハーフマラソンが中止となった。(企画財政課)
- ・各交流都市とのイベントへの相互出展等、積極的な交流を行うことができた。(商工観光課)

成果と課題

・定住自立圏構想推進要綱及び定住自立圏形成協定に基づき、圏域全体で定住のために必要な生活機能を確保・充実し、地域の活性化と発展を図ることができた。(企画財政課)

・各都市のイベント出展等により、市民交流のほか自治体間の連携を更に推進していきたい。(商工観光課)

今後の方針（施策の方向性）

- ・定住自立圏形成協定に基づき、圏域全体で定住のために必要な生活機能を確保・充実し、地域の活性化と発展を図るための事業を継続する。(企画財政課)
- ・引き続き都市交流を推進し、相互協力関係の構築及び関係人口の増加に繋げていく。(商工観光課)

施策に関する事務事業

(事務事業評価対象：二次経費)

[illegible]

施策に関連する主な個別計画

計画名	計画期間(年度又は年)	所管課
北信地域定住自立圏共生ビジョン	2022 年度 ～ 2026 年度	企画財政課
	～	
	～	